

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター1 2011東日本大震災 仙台一市民の記録	0時間27分	制作年：2011 地震による地滑りで市から避難勧告を受けた一市民による震災の映像記録
S13002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター2 東日本大震災 東北朝鮮学校の記録 2011.3.15-	1時間7分	制作年：2011 震災で校舎が全壊した東北朝鮮初中級学校の震災直後の被害状況と支援活動等のありのままの記録
S13003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター3 車載映像 2011.3.27 仙台一塩釜一仙台港一仙台	1時間31分	制作年：2011 震災後、あまり時間が経っていない被災地の車載カメラによる映像
S13004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター4 あいだのことは	1時間4分	制作年：2011-2012 作者が1年間被災地に通い続け、記録した3人の方々との会話
S13005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター5 沿岸部の風景	1時間30分	制作年：2011-2012 震災後1年間の被災地の風景と、そこに生きる人々の姿の映像記録
S13006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター6 どうぞ記憶よ離れないで	0時間52分	制作年：2011-2012 言葉にできない惨状と、日々変化していく風景に焦りを感じた作者が、「記録する」という使命感から撮り続けた映像
S13007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター7 車載映像 2011.6.1多賀一七ヶ浜・汐見付近一海岸沿い	0時間51分	制作年：2011 震災後、3か月ほどたった被災地の車載カメラによる映像
S13008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター8 東日本大震災 東北朝鮮学校の記録 2	1時間7分	制作年：2011 震災から半年、学校再建という大きな課題に向き合う人々の姿を追う。
S13009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター9 絆で醸す「日本一」の酒～支援へのお返し	0時間16分	制作年：2011-2012 復興の誓いを込めた酒造りに共感した蔵元仲間が全国から駆けつけ、震災の夏、創業地での酒造りが始まった。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター10 測量技師たち	0時間13分	制作年：2011 311仙台短編映画祭映画製作プロジェクト作品「明日」の一編「測量技師たち」のロングバージョン
S13011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター11 高野原団地住宅被害からの復旧	0時間21分	制作年：2011-2012 内陸部の宅地被害。3.11に大きく傾いた電柱は、日々傾きを増していく。
S13012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター12 蒲鉾本舗高政 高橋正樹さん	0時間30分	制作年：2011-2012 「昔は嫌いだった。でも今は毎日女川のことを考えている。」地域の旗手が、自身の変化と町の未来を本音で語る。
S13013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター13 Cafe de Monk	0時間16分	制作年：2011-2012 震災後、被災者への傾聴を目的とした移動喫茶Cafe de Monkが宗教者たちによって行われている。
S13014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター14 声の届き方	0時間40分	制作年：2011-2012 脱原発市民ウォークが行われたアーケードで、「伝わらなさ」について後日行われた街頭インタビュー
S13015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター15 ここから	0時間11分	制作年：2011 「彼女にどんな言葉をかけても、私は明日ここから帰ってしまう」ことから始まった新たな活動。
S13016	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台工業高校模型部 コマ撮りアニメーション	0時間11分	制作年：2012 SMTで行ってきたワークショップや授業でのノウハウを生かしてスタジオで製作し、ことりTVなので上映されたもの

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13017	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	木町の宝 木町通小学校6年生	1時間13分	制作年：2012 学校と連携して取り組んできた本作品は、子どもたちそれぞれの作品であると共に地域の映像記録にもなっている。
S13018	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV	1時間4分	制作年：2012 SMTと仙台CATVが共同で企画・製作し、市民ディレクターが企画・撮影・編集してつくるTV番組が「ことりTV」である。
S13019	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	誰もが映画を楽しむためのプロセス・バリアフリー上映への道のり	0時間28分	制作年：2012 SMTでは、目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめる通称「バリアフリー上映」が開館以来行われている。
S13020	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく サインを読みとれ！	0時間13分	制作年：2000 人が絶えず出している「サイン」について考え、サインを読みとり合う「日比野克彦ワークショップ」の記録
S13021	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 日本語字幕付上映「しあわせ家族計画」トーク	1時間12分	制作年：2000 映画のバリアフリー上映後に行われた阿部勉監督を囲む会の記録
S13022	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひストリングラフィ in smt 水嶋一江ワークショップ&ミニコンサート	0時間52分	制作年：2000 糸電話の原理を応用した楽器「ストリングラフィ」の考案者である水嶋氏の演奏とワークショップの記録
S13023	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく たからものを見つけに	0時間32分	制作年：2000 不思議な道具を使いながら、今日だけの宝物をつくるワークショップの記録
S13024	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく トーキング・ブッカーおしゃべりな本を作ろう	0時間16分	制作年：2000 絵や文字と一緒に自分の声が入る「声本」をつくるワークショップの記録
S13025	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく メッセージの博物誌（展示）	0時間4分	制作年：2000 古本やラジオ、地域のコレクションを集め、展示したものの記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13026	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 記憶の扉（展示風景）	0時間14分	制作年：2000 6階ギャラリーで行われた「記憶の扉」の展示風景の記録
S13027	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 開館イベントメッセージ/ことばの扉をひらく	2時間15分	制作年：2000 「記憶の扉」に出品した作家へのインタビューの記録
S13028	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく ゴダールの映画と『映画史』	0時間46分	制作年：2000 ゴダールの映画や映画史等に関する東北大助教授で仏文学者の梅木達郎氏の講演の記録
S13029	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 芸術本位制国家論	2時間35分	制作年：2000 駒形克哉氏による「芸術本位制貨幣制度」のシミュレーション等実験的ワークショップの記録
S13030	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 車いすウォークラリー	1時間17分	制作年：2000 車いすに乗ったり組み立てたりの、バリアフリーの原点に立ち返った体験的ワークショップの記録
S13031	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 盗聴リミックス	1時間38分	制作年：2000 意識されない館内の声を集め、加工し、全く新しい「音楽」をつくるヲノサトル氏のワークショップの記録
S13032	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 復活！活版印刷会社 ワークショップ	0時間39分	制作年：2000 渡辺印刷所から寄贈された古い活版印刷機を使い、参加者の手で文字組をしカードをつくったワークショップの記録
S13033	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 『赤い殺意』のころ	0時間59分	制作年：2000 仙台が舞台となった映画の助監督と記者が語った撮影当時のエピソード
S13034	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館イベント メッセージ/ことばの扉をひらく 建築と映画	1時間3分	制作年：2000 建築映画の上映と、その楽しみ方について語った鈴木明氏の講演の記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13035	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	DIALOG IN THE DARK トークセッション 「五感に耳をすま す」	1時間56分	制作年：2001  視覚以外の感覚を使って体験するワークショップ形式の展覧会の各地での開催の経緯や体験を語った記録
S13036	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コンピュータ画家 アローンの開発者ハ ロルド・コーエン講 演会	1時間55分	制作年：2001  自動描画ソフトのプログラムが作り出した作品展の関連イベントとして行われた講演会の記録
S13037	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smtシネマvol.3 『SELF AND OTHERS』トーク	1時間3分	制作年：2001  写真評論家飯沢耕太郎氏と写真家三浦和人氏のトークイベントの記録
S13038	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館1周年記念シン ポジウム smtはどう開 かれたか	1時間53分	制作年：2001  smt 設計者の伊東豊夫氏とp tの桂英史氏が今後のsmtが目指すべきものを会場を交えて語り合ったものの記録
S13039	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	開館1周年記念ワー クショップ 映像の不 思議 自分のキャラク ターを動かそう！	0時間17分	制作年：2001  小学生を対象にメディアアーティスト岩井俊雄氏が行ったアニメーションの製作を体験するワークショップの記録
S13040	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	短編映画制作ワー クショップ	1時間5分	制作年：2001  加藤到氏を講師として、映画製作の基本を学び、DVカムや編集ソフトを使って作品を製作するワークショップの記録
S13041	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	150年目の旅 マ クシム・デュ・カン展 講演「マクシム・ デュ・カンとその時 代」	1時間48分	制作年：2001  蓮實重彦氏による、19世紀半ばのフランス、パリの状況、デュ・カンとそれを取り巻く人物についての講演の記録
S13042	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいアート・ア ニュアル2001	0時間10分	制作年：2001  1階オープンスクエアで行われた、誰でも出品できる展覧会「アートアニュアル」の2001年の記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13043	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	おもしろITワークショップ	0時間26分	制作年：2001 s m t 名誉館長石井威望氏を講師とした、携帯電話の機能を活用したワークショップの記録
S13044	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	BIT GENERATION2000+1 テレビゲーム展 クリエイター松浦季里のトークセッション	2時間5分	制作年：2001 松浦氏と東京都写真美術館の森山朋絵氏による、ゲームづくり等についてのトークイベントの記録
S13045	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	メビウスの卵展 メビウスの卵スターチップワークショップ	1時間16分	制作年：2001 多面体折り紙作家の川村みゆき氏による、星形等の美しい多面体を組み上げるワークショップの記録
S13046	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	retake -とらえなおされる日常- 展示風景	0時間21分	制作年：2002 ギャラリーでの展示の記録
S13047	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	retake -とらえなおされる日常- かくれんぼ*かくされんぼ	0時間40分	制作年：2002 かくれんぼを通じてメディアテークのデザインに着目するワークショップの記録
S13048	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	メビウスの卵展2002 仙台展 シンポジウム「バリアフリーな展示会づくりを考える」	2時間56分	制作年：2002 同展示会開催時に行われたバリアフリーシンポジウムの記録
S13049	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	インタラクティブ・カオス-生体システムの外在化- 展示風景	0時間15分	制作年：2002 鑑賞者の脳波を取り込み構成されるイメージをスクリーンに映し出すインタラクティブ・メディアアート作品の展示風景
S13050	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	インタラクティブ・カオス-生体システムの外在化-シンポジウム「ダイナミックな脳」	2時間2分	制作年：2002 シンポジウム「ダイナミックな脳-脳科学から見た、カオスティックな解釈とその表現への可能性について」の記録
S13051	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいアート・アニュアル2002 アニュアル・レビュー	2時間19分	制作年：2002 展示会最終日に行われた講評会とシンポジウムの記録
S13052	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	カメラのむこうにある<リアル> トーク	1時間45分	制作年：2002 「阿賀に生きる」などで知られる映画監督・佐藤真氏によるレクチャーの記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13053	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い（1） 映画における国籍	1時間10分	制作年：2002 20世紀の複製芸術としての映画の、21世紀における新しい像を探るシリーズ・レクチャー、その1
S13054	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い（2） 映画における演出	1時間11分	制作年：2002 20世紀の複製芸術としての映画の、21世紀における新しい像を探るシリーズ・レクチャー、その2
S13055	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い（3） 映画における歴史	1時間8分	制作年：2002 20世紀の複製芸術としての映画の、21世紀における新しい像を探るシリーズ・レクチャー、その3
S13056	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2002 トーク	0時間53分	制作年：2002 新人作家の登竜門として知られる同映画祭における李相日氏によるレクチャーの記録
S13057	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2002 トーク	0時間43分	制作年：2002 映画祭のゲストで「火星のカノン」の監督・風間志織氏によるレクチャーの記録
S13058	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2002 トーク	0時間36分	制作年：2002 映画祭のゲストで「IKKA：一和」の監督・川合晃氏によるレクチャーの記録
S13059	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台八景ーオリジナルおもしろ記念碑をぶったてようー	1時間58分	制作年：2002 参加者が仙台市中で記念されるべきと考えた事柄の記念碑を製作し、展覧会を行ったことなどの記録
S13060	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（1） 人が生き生きとする場のデザイン	2時間24分	制作年：2002 情報デザインの専門家・渡辺保史氏のコーディネートで行われた、働き方研究者・西村佳哲氏とのトークセッション

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13061	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（２）コミュニティという現場のデザイン	2時間4分	制作年：2002 情報デザインの専門家・渡辺保史氏のコーディネートで行われた舞台監督・杉浦裕樹氏とのトークセッション
S13062	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（３）つながりを見えるようにする共有のデザイン	1時間35分	制作年：2002 情報デザインの専門家・渡辺保史氏のコーディネートで行われた「関心空間」の前田邦宏氏とのトークセッション
S13063	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（４）人と人をつなぐ仕事のデザイン	1時間30分	制作年：2002 情報デザインの専門家・渡辺保史氏のコーディネートで行われた「おつまみつくり隊」の森川千鶴氏とのトーク
S13064	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（５）スロープレイス、スローコミュニケーション	1時間21分	制作年：2002 情報デザインの専門家・渡辺保史氏のコーディネートで行われた「ナマケモノ倶楽部」の辻信一氏とのトーク
S13065	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・トークセッション（６）メディアテークをre-designせよ 共有のデザイン100のアイデア	1時間42分	制作年：2002 これまでのトークセッションのゲストと参加者を交えて行われたワークショップの記録
S13066	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	短編映画制作入門	0時間42分	制作年：2002 1か月に渡って行われたワークショップの様子と参加者による作品を収録
S13067	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	CMの技法	0時間26分	制作年：2002 仙台でCMの製作を手がける菊地貴公氏を講師に行われたワークショップの様子と参加者の作品を収録
S13068	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	見学・体験！カップン印刷工場 カップン印刷ワークショップ	1時間21分	制作年：2002 s m t 所蔵の古い活版印刷機を使い、活字拾いから組み版、印刷までの工程を体験したワークショップの記録



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13069	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	文学展@ smt/smt オープンカフェ タイポグラフィ・カフェ（１）	1時間30分	制作年：2002 グラフィック・デザイナー・タイポグラファーの小泉均氏による講演の記録 1
S13070	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	文学展@ smt/smt オープンカフェ タイポグラフィ・カフェ（２）	1時間24分	制作年：2002 グラフィック・デザイナー・タイポグラファーの小泉均氏による講演の記録 2
S13071	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	文学展@ smt/smt オープンカフェ タイポグラフィ・カフェ（３）	1時間16分	制作年：2002 グラフィック・デザイナー・タイポグラファーの小泉均氏による講演の記録 3
S13072	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	文学展@ smt/smt オープンカフェ タイポグラフィ・カフェ（４）	1時間27分	制作年：2002 グラフィック・デザイナー・タイポグラファーの小泉均氏による講演の記録 4
S13073	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ケアする人のケア 仙台フォーラム	2時間33分	制作年：2002 同仙台フォーラムで行われたリン・ケイブル氏他によるレクチャーの記録
S13074	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映写機の秘密	0時間50分	制作年：2002 16ミリ映写機の操作体験やスタジオシアターの上映設備の見学等の記録
S13075	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいメディアテーク2002年度事業総集編	1時間46分	制作年：2002 せんだいメディアテークが2002年度に主催・共催した事業をダイジェストで紹介している
S13076	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt オープンカフェ 中原中也は好きですか？	0時間40分	制作年：2002 仙台在住の詩人・武田こうじ氏によるポエトリー・リーディングの記録
S13077	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター16 地鎮	0時間20分	制作年：2012 被害の大きかった中山団地で自宅を再建した方の体験記
S13078	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター17 行けるところまで行き、しかるべき場所で	0時間46分	制作年：2013 震災直後から13年まで県内で撮影した映像を時系列でまとめたもの
S13079	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター18 仙台のがれき撤去	1時間5分	制作年：2013 仙台市から要請を受けた建設会社がのがれき撤去作業の記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13080	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター19 米崎町のりんご農家の記録	0時間42分	制作年：2013 震災後も同じ場所で暮らすことを決めた岩手の農家の日常を記録したもの
S13081	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター20 あなたは2011年3月11日をどのように過ごしましたか？	0時間22分	制作年：2012 仙台市内陸部で被災した人々が「その日何をしていたか」を語ったもの
S13082	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター21 沿岸部の風景（2013年版）	1時間36分	制作年：2013 震災後、不定期に訪れた沿岸部の風景とそこで出会った人達の映像記録
S13083	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター22 intereseeーアンテレッサー	1時間19分	制作年：2012 世界中の人が「ある関わりをもつ当事者」ー外国人が出会った被災者
S13084	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター23 閑上録ースクリーンヴァージョン	1時間23分	制作年：2013 避難所での生活はその後の私たちに何を提示したのか、閑上の人々に聞く
S13085	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター24 ルート45	0時間21分	制作年：2012 被災地沿岸部沿いの国道45号線とその沿線を車載カメラで記録した映像
S13086	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター25 亙理鉄道の車窓から	0時間13分	制作年：2012 県道38号線を架空の鉄道に置き換えて眺めた亙理から磯浜漁港までの映像
S13087	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター26 仙台の下水道災害復旧	0時間35分	制作年：2013 地震で被害を受けた仙台市内下水道の復旧工事の記録
S13088	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター27 過去を見直して、今を見つめる	1時間14分	制作年：2013 石巻の初めて赴き、被災の現状を知り向き合うことで見えてきたものはー
S13089	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター28 南三陸の解体	0時間35分	制作年：2013 津波被害で使えなくなった建物を解体する南三陸町での仕事の記録
S13090	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター29 移りゆく/その過程	1時間20分	制作年：2013 石巻をベースに支援活動をしていたテント集団がテント芝居を敢行することに

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13091	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター30 夕潮の帰り道 vol.1	0時間8分	制作年：2012 日常を取り戻した内陸部から取り残され、雑草の生い茂る沿岸部を見続ける
S13092	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター31 迷走する柳の葉を追いかけんとする熊の子	0時間16分	制作年：2013 震災を経験しない者は今後ここでどう生きられるのか、を問う
S13093	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター32 HaTiDORi	0時間46分	制作年：2013 震災後、より広い世代の人々が集い話し合える場としてできた「HaTiDORi」
S13094	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り（1）	2時間34分	制作年：2012 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。
S13095	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り（2）	1時間0分	制作年：2012 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13096	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市南方町の永浦誠喜の語り（3）	2時間18分	<p>制作年：2012</p> <p>この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。</p>
S13097	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 栗原市一迫町の佐藤玲子の語り（1）	1時間40分	<p>制作年：2013</p> <p>この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13098	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 遠野市宮守町の佐々木健の語り（1）	2時間35分	制作年：2013  この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。
S13099	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市迫町の伊藤正子の語り（1）	2時間26分	制作年：2013  この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市南方町の永浦さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さん、そして登米市迫町の伊藤さんの語りをまとめたものです。
S13100	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV	2時間7分	制作年：2013  SMTと仙台CATVが共同で企画・製作し、市民ディレクターが企画・撮影・編集してつくるTV番組の2013年度版
S13101	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	新館長就任記念トークイベント フォロワーシップの時代 次世代と編むこれからの仙台ー	1時間36分	制作年：2013  2013年4月29日に行われた新館長就任記念トークイベントの記録
S13102	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	宮城野区文化センター開館1周年記念 みんなで聴きたい語りたいーせんだいメディアテーク 鷺田清一とともにー	1時間42分	制作年：2013  2013年10月17日に行われた宮城野区文化センター開館1周年記念事業の記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13103	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 LOVERS 永遠の恋人たち（展示風景）	0時間7分	制作年：2013 当館6階ギャラリーで開催された展覧会の展示作品及び展示風景の記録
S13104	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 ポストメディア時代の映像（1）	1時間2分	制作年：2013 メディア論・表象文化論研究者の門林氏によるレクチャーの記録
S13105	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 ポストメディア時代の映像（2）－対話編－	1時間10分	制作年：2013 メディア論・表象文化論研究者の門林氏による2回目のレクチャーの記録
S13106	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 森永邦彦×鷺田誠ーからだ・ふく・せくしゅありてい	1時間58分	制作年：2013 ファッションデザイナー森永邦彦氏と当館鷺田館長の対談の記録
S13107	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映像体験ミュージアム/smtオープンカフェ 映像体験カフェ パラパラボ	0時間40分	制作年：2003 デザイナーの永原康史氏を迎えて行われた映像体験ラボの記録
S13108	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	源間正彦展－桃源郷は在る－（展示風景）	0時間19分	制作年：2003 せんだいアートアニュアルsmt賞受賞の副賞として行われた展覧会の記録
S13109	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	写真家・岡本太郎の眼－東北と沖縄－TAROカフェ	1時間20分	制作年：2003 評論家・飯沢耕太郎氏による「写真家・岡本太郎」のレクチャーの記録
S13110	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	写真家・岡本太郎の眼－東北と沖縄－TAROカフェ 座談会	1時間13分	制作年：2003 岡本敏子氏，飯沢耕太郎氏，山下裕二氏による座談会の記録
S13111	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt サマーミュージアム クリケット・ワークショップ	1時間4分	制作年：2003 小学生を対象に行われたコンピュータを使ったワークショップの記録
S13112	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいアートアニュアル2003	2時間4分	制作年：2003 作品を公募して行われたせんだいアートアニュアル2003の記録
S13113	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	フィンランドの美術「神話が息づく自然の国」展国際理解講座 フィンランド美術を知る集い	1時間16分	制作年：2003 フィンランドの近・現代美術を通じて同国の精神風土等を探る展覧会の記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13114	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	フィンランドの美術「神話が息づく自然の国」展 フィンランド・仙台まちづくりこども会議	1時間1分	制作年：2003 仙台とフィンランドの子どもがインターネットを使って話し合った会議の記録
S13115	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	二卵性の映画たちトーク	0時間41分	制作年：2003 映画監督・藤井謙二郎氏を迎えて行ったトークの記録
S13116	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い(4) 世界の中の日本映画－理論編－	1時間39分	制作年：2003 2002年度から続くシリーズ2年目の初回の講演の記録
S13117	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い(5) 世界の中の日本映画－実践編－	2時間2分	制作年：2003 フランス・ポルトガルから映画監督・評論家を迎えて行われたトークの記録
S13118	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い(6) 世界の中の日本映画－総括編－	2時間10分	制作年：2003 シリーズ最終回に映画監督・黒沢清氏を迎えて行われた対談の記録
S13119	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	蓮實重彦 映画への不実なる誘い(7) 世界の中の日本映画－特別編－	1時間56分	制作年：2003 映画監督吉田喜重氏と女優岡田茉莉子氏を迎えた鼎談の記録
S13120	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ショートピース！ 仙台短編映画際2003	0時間18分	制作年：2003 作品の上映だけでなく、作り手のトーク、若手作品のコンペ、ライブなどが行われた映画祭の記録
S13121	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2003 トーク	1時間43分	制作年：2003 映画監督「阪本順治全仕事 ショートフィルム編等」のトークの記録
S13122	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2003 トーク	2時間11分	制作年：2003 「『刑事まつり』祭りwith篠崎誠」(1)(2)での監督篠崎氏のトークの記録
S13123	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2003 トーク	0時間28分	制作年：2003 「バーバー吉野」上映後の監督荻上直子氏のトークの記録
S13124	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ブラッケージ・アイズ 2003－2004 トーク	0時間47分	制作年：2003 「薔薇の葬列」で知られる映像作家・批評家の松本俊夫氏によるトークの記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13125	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ブラッケージ・アイズ 2003-2004 ハンドペインティングフィルムを作る	1時間2分	制作年：2003 実験映画の巨匠と呼ばれた故ブラッケージ氏にちなんだ上映会の関連企画として行われたワークショップの記録
S13126	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ブラッケージ・アイズ 2003-2004 Visual music for the silent film maker	1時間12分	制作年：2003 ブラッケージ氏の映画に触発された電子音響によるパフォーマンスの記録
S13127	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t 活用による子どもの美術活動研究	1時間4分	制作年：2003 仙台市小学校教育研究会図工部会の教員が中心になって行った図画工作の公開授業の記録
S13128	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	架空の郷土芸能つくりますワークショップ レクチャー「架空の郷土芸能」	1時間29分	制作年：2003 現代音楽家の三輪真弘氏を講師に迎えて行われたワークショップの記録
S13129	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	架空の郷土芸能つくりますワークショップ 架空儀礼のタペーヂヤイ神楽(付)算額奉納ー	1時間36分	制作年：2003 音楽家三輪真弘氏を迎えて行われたワークショップの成果発表会の記録
S13130	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	短編映画制作ワークショップ	0時間49分	制作年：2003 映画監督長尾直樹氏を迎えて行われたワークショップの記録と作品
S13131	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台八景ブルース	0時間52分	制作年：2003 美術家駒形克哉氏とギタリスト村上徳彦氏によるワークショップ音楽編の記録
S13132	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	テレビ番組制作ワークショップ(1)	1時間58分	制作年：2003 東北大学大学院の関本教授を中心に、東日本放送、ケーブルテレビキャベツのプロのスタッフが講師を務め、番組の企画から、撮影・編集の方法を具体的に練習し、参加者が作った作品を実際に放送もしたワークショップの記録



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13133	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	テレビ番組制作ワークショップ(2)	2時間8分	制作年：2003 東北大学大学院の関本教授を中心に、東日本放送、ケーブルテレビキャベツのプロのスタッフが講師を務め、番組の企画から、撮影・編集の方法を具体的に練習し、参加者が作った作品を実際に放送もしたワークショップの記録
S13134	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	テレビ番組制作ワークショップ(3)	1時間25分	制作年：2003 東北大学大学院の関本教授を中心に、東日本放送、ケーブルテレビキャベツのプロのスタッフが講師を務め、番組の企画から、撮影・編集の方法を具体的に練習し、参加者が作った作品を実際に放送もしたワークショップの記録
S13135	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	写真ワークショップ フォトゼミ(0) キッチン・コラボレーション	1時間10分	制作年：2003 写真家小林的りお氏と写真評論家飯沢耕太郎氏が講師となって行われたデジタルカメラ撮影ワークショップの記録
S13136	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	写真ワークショップ フォトゼミ(0) トーク「アナログからデジタルへ」	1時間57分	制作年：2003 写真家小林的りお氏と写真評論家飯沢耕太郎氏による対談の記録
S13137	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 定禅寺のはなし(1)	0時間52分	制作年：2003 定禅寺通りまちづくり協の米竹隆氏をホストに、とっておきの音楽祭実行委藤野氏を迎えて行われたトークの記録
S13138	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 定禅寺のはなし(2)	1時間4分	制作年：2003 仙臺すずめ踊り連盟の辻氏，杜の都のアート展実行委の中村氏らが出演

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13139	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 定禅寺のはなし(3)	1時間2分	制作年：2003 定禅寺ストリートジャズフェス実行委の尾崎氏、光のページェント実行委の瀬戸氏らが出演
S13140	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 観光とアートー仙台のアート戦略を考えるー	1時間38分	制作年：2003 美術家の間島領一氏らが「アートと観光」について対談したものの記録
S13141	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台発<文化・市民活動情報>見本市レクチャー「市民社会の知的基盤のために」	0時間42分	制作年：2003 ひつじ書房房主の松本氏が行った実践報告と講演の記録
S13142	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台発<文化・市民活動情報>見本市ディスカッション「活動を育む情報拠点とは？」	1時間38分	制作年：2003 基調講演とせんだい・みやぎNPOセンター事務局の青木氏らによるディスカッションの記録
S13143	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいメディアテーク2003年度事業総集編	1時間1分	制作年：2003 せんだいメディアテークが2003年度に行った事業の総集編
S13144	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える(1) 物語る/できごとを伝えていく	1時間39分	制作年：2014 物語論で知られる野家啓一東北大特命教授と当館鷺田館長との「忘れること」等についての対話。東北大学大学院の関本教授を中心に、東日本放送、ケーブルテレビキャベツのプロのスタッフが講師を務め、番組の企画から、撮影・編集の方法を具体的に練習し、参加者が作った作品を実際に放送もしたワークショップの記録
S13145	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える(2) 取材/見て、聞いて、調べて、	2時間3分	制作年：2014 ノンフィクションライター最相葉月氏と鷺田館長との取材等に関する対話。
S13146	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ファイナリスト 栄光のその先	0時間26分	制作年：2013 「卒業設計日本一決定戦」の、過去の話題作の中から印象的な作品を選出し、その作者に取材したもの。
S13147	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	木町のたから（2013年度）木町通小学校6年生	1時間15分	制作年：2013 木町通小と当館が連携して取り組んできた映像の授業の成果の一つ。6年生が自ら考え、撮った地域の宝とは。
S13148	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市迫町の伊藤正子の語り[2]	2時間51分	制作年：2014 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市迫町の伊藤さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さんの語りの第2弾です。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13149	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 登米市迫町の伊藤正子の語り[3]	3時間11分	制作年：2014 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市迫町の伊藤さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さんの語りの第2弾です。
S13150	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 栗原市一迫町の佐藤玲子の語り[2]	3時間16分	制作年：2014 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市迫町の伊藤さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さんの語りの第2弾です。
S13151	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 遠野市宮守町の佐々木健の語り[2]	3時間11分	制作年：2014 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業「民話 声の図書室」の中で、登米市迫町の伊藤さん、栗原市一迫町の佐藤さん、遠野市宮守町の佐々木さんの語りの第2弾です。
S13152	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター33 閑上録(2014年編集版)	1時間40分	制作年：2012-2014 避難所生活を余儀なくされた人びとは何を思い、どう毎日を送ったのか。
S13153	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター34 夕潮の帰り道 vol.2	0時間24分	制作年：2013 盛岡市と宮古市、内陸部と津波被害の沿岸部との違いを見続けていく。
S13154	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター35 逃走する熊の子のその後	0時間30分	制作年：2013-2014 「被災しなかった」我々はいかに存在すれば良いのか。迷走は続く。
S13155	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター36 筆甫 宮城県南からの声	1時間3分	制作年：2013-2014 福島県と同等の被害を受けながら、宮城県内のために同等の補償が受けられない筆甫の人びとの苦しみ。
S13156	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター37 福田十二神楽	0時間39分	制作年：2013-2014 福島県新地町に伝わる山伏法印神楽。ルーツは宮城県丸森町である。
S13157	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター38 福島的光景	0時間50分	制作年：2013-2014 地震、津波、原発事故と、三重の被害に晒された福島を今を伝える。
S13158	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター39 Tango Karamarito	1時間8分	制作年：2013-2014 日本で起こった震災は、国外に暮らす人びとに何を問い掛けたのか。
S13159	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター40 木町の3.11—ふるさとへの想い—	1時間32分	制作年：2014 木町通小の子どもたちが震災当時の様子や人びとの想いについて地域の人びとに行ったインタビューの記録。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13160	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター41 連作 閑上録 アーカイブシリーズ（1）	1時間0分	制作年：2012  制作者のコメント：2011年の震災によって避難所となった名取市文化会館。人びとの避難所における共同生活はどのようなものであったか。「人に助けられたので、少しでも恩返しができる」。そう語る高橋善夫さんは、震災後は美田園第一仮設の自治会長を担っている。震災以前から町のため人のために働いてきた高橋さんにとって、震災とはなんだったのだろうか。高橋さんが大切に語る「笑顔」とはなんだろうか。震災から1年後、関西を中心に活躍するダンサー・砂連尾理とともに、避難所生活という非日常とその後の生活について、名取市閑上の方がたとの対話を試みた。  シリーズ解説：本映像は、わすれん!DVDvol.23「閑上録-スクリーン・ヴァージョン」および、vol.33「閑上録(2014年編集版)」の映像素材を再編集し、人物ごとの記録にまとめたシリーズです。
S13161	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター42 連作 閑上録 アーカイブシリーズ（2）	0時間36分	制作年：2012  避難所となった館腰小学校。震災から1年後、ダンサー砂連尾理さんと閑上の方々による、避難所における共同生活の様子の対話記録
S13162	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター43 連作 閑上録 アーカイブシリーズ（3）	0時間33分	制作年：2012  震災から1年後、ダンサー砂連尾理さんさんが閑上の方々との対話から受け取ったもの、受け取ろうとしたものの記録
S13163	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター44 連作 閑上録 アーカイブシリーズ（4）	2時間6分	制作年：2012  震災から1年後、ダンサー砂連尾理さんさんと名取市文化会館スタッフによる対話記録。避難所生活という非日常とその後の生活についての対話記録
S13164	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	3がつ11にちをわすれないためにセンター45 連作 閑上録 アーカイブシリーズ（5）	0時間47分	制作年：2012  震災から1年後、ダンサー砂連尾理さんさんと名取市文化会館スタッフによる対話記録。これからの劇場及び公共施設の可能性を探る。
S13165	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	木町のたから（2014年度）木町通小学校6年生	1時間11分	制作年：2014  木町通小学校と当館が連携して取り組んできた映像の授業の成果の一つ。6年生が自ら考え、撮った地域の宝とは・・・。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13166	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える（3）纏い、待つ/みなれたものをはじめてみるかのように	2時間4分	制作年：2014  デザイナーの堀畑裕之氏や関口真希子氏と、当館鷺田館長とのファッションやデザイン等についての対話記録
S13167	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 フィクションの境目 かたログvol. 23	0時間52分	制作年：2014  この映像は、2014年12月19日にせんだいメディアテーク7階スタジオシアターで行われたトークイベント「対話の可能性 フィクションの境目 かたログ vol. 23」の記録です。映画監督の酒井耕と濱口竜介が、美術家で映画監督の藤井光とともに、藤井の作品『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』を取り上げながら、震災後の映像表現について考えました。
S13168	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	対話の可能性 記録と想起・イメージの家を歩く	0時間14分	制作年：2014  震災の映像記録を、アートの側面から展示した記録
S13170	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt コンストラクション・ワンダーランド オープニングイベント	1時間40分	制作年：2004  この映像は、2004年8月1日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「smt コンストラクション・ワンダーランド?メディアテークはこうして作る!？」（7月25日?8月22日実施）のオープニングイベントの様子です。設計者の伊東豊雄氏らをまじえたトークを行いました。
S13172	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	景観—もとの島— 金華山ネイチャーアーカイブ	0時間32分	制作年：2004  この映像は、2005年2月1?28日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで行われた展覧会「景観—もとの島—」のための滞在制作の様子を記録したものです。同展の作家の一人である関口敦仁氏が、宮城県石巻市の洋上に浮かぶ島・金華山に一般の参加者とともに入りフィールドワークをしました。
S13173	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	景観—もとの島— 中原浩大+遠藤孝則 ワークショップ「ツバメもどき」	0時間22分	制作年：2004  この映像は、2005年2月6日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われたワークショップの記録です（「景観—もとの島—」[2月1?28日] 関連企画）。日常では気づかないさまざまなつながりを視覚化することを試みた同展の作家の一人である中原浩大氏が、遠藤孝則氏とともに、鳥の群れのような動きを可能にするコンピュータ・プログラムB0ID（ボイド）を参考にした鬼ごっこを行いました。
S13174	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	景観—もとの島— 関口敦仁ワークショップ「鉄道も系」	0時間14分	制作年：2004  この映像は、2005年2月20日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた、ワークショップの記録です（「景観—もとの島—」関連企画）。日常では気づかないさまざまなつながりを視覚化することを試みた同展の作家の一人である関口敦仁氏が、鉄道模型を使って「つながり」を視覚化するワークショップを行いました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13175	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	チェコ・アニメーションの世界 体を使ってコマ撮りアニメーションを作ろう	0時間5分	制作年：2004 この映像は、2004年7月31日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアター、1階オープンスクエアで行われたワークショップ（「チェコ・アニメーションの世界」関連企画）の記録です。世界的に評価が高く親子で楽しめるアニメーションの特集上映にちなんで、身近にある物と自分たちの体を使ったコマ撮りアニメーションを制作しました。
S13176	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ショートピース！仙台短篇映画祭2004「新しい才能に出会う」	1時間42分	制作年：2004 この映像は、2004年9月18日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアターで行われた、「ショートピース！仙台短篇映画祭2004」（9月18?20日）のプログラム「新しい才能に出会う」での記録です。『黄泉がえり』や、後に『どろろ』で知られる監督の塩田明彦氏をコメントーターに迎え、全国からの応募を経て上映された若い監督たちが話をしてしています。
S13177	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバル in 仙台 2004 トーク	1時間8分	制作年：2004 この映像は、2004年11月23日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアターで行われた、「ぴあフィルムフェスティバル in 仙台2004」（11月20?23日）での「若松孝二スペシャル」でのトークの記録です。『17歳の風景?少年は何を見たのか』と、そのメイキング作品『67歳の風景?若松孝二は何を見たのか』の上映後、宮城県出身でもある監督・若松孝二氏、続いてメイキングを監督した竹藤佳世氏が解説や制作経緯について話しました。
S13178	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ペドロ・コスタ 世界へのまなざし トーク	2時間50分	制作年：2004 この映像は、2005年3月27日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアターほかで行われた「ペドロ・コスタ 世界へのまなざし」（3月19?29日）での、監督と映画評論家の蓮實重彦氏による対談の記録です。同企画では、当時の最新作をくむ5作品を上映したほか、6階ギャラリーでインスタレーションを展示しました。
S13179	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ペドロ・コスタ 世界へのまなざし 展示風景（『ヴァンダの部屋』ビデオ・インスタレーション）	0時間4分	制作年：2004 この映像は、2005年3月19日-29日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアターほかで行われた「ペドロ・コスタ 世界へのまなざし」の一環として6階ギャラリーで展示された『ヴァンダの部屋』ビデオ・インスタレーション・バージョンの???風景です。同企画では、『ヴァンダの部屋』で世界的に注目されたポルトガルの映画作家ペドロ・コスタ氏を招き、当時の最新作をくむ5作品を上映したほか、この展示を行いました。
S13180	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	シネマバザール 2005 トーク	0時間47分	制作年：2004 この映像は、2005年3月13日にせんだいメディアアテーク7階スタジオシアターで行われた、「シネマバザール2005」上映作品『またの日の知華』の監督である原一男氏によるトークの記録です。上映会のつくり方を学ぶワークショップ「シネママネジメントワークショップ」に参加した人たちが企画した同上映会で、春というはじまりの季節に「旅立ち」をテーマにした5作品を上映しました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13181	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	共有と連携のデザイン スタジオ・トークセッション「みさだめることのデザイン」	1時間56分	制作年：2004 この映像は、2004年7月15日にせんだいメディアテーク7階スタジオbで行われた「共有と連携のデザイン」の「スタジオ・トークセッションみさだめることのデザイン—文化施設の通信簿をめぐって—」の記録です。ミュージアムやその活動を特集する雑誌「DOME」編集長であり、特定非営利活動法人つなぐ（つなぐNPO）主宰の山本育夫氏をむかえて、各地での「文化施設の通信簿」などについて話をうかがいました。
S13182	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	共有と連携のデザイン スタジオ・トークセッション「みさだめることのデザイン2」	2時間22分	制作年：2004 この映像は、2004年9月16日にせんだいメディアテーク7階スタジオbで行われた「共有と連携のデザイン」の「スタジオ・トークセッションみさだめることのデザイン2」の記録です。「せんだいメディアテークの通信簿」の結果を紹介しながら、前回に続き山本育夫氏と、建築学者で情報技術がひらくあたらしい都市・建築の使い方について研究している本江正茂氏（事業当時、宮城大学事業構想学部専任講師）をむかえて話し合いました。
S13183	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	手でみてつくる造形ワークショップ—感じやことを形にしてみよう—	0時間48分	制作年：2004 この映像は、2005年3月12日にせんだいメディアテーク7階会議室で行われた、「手でみてつくる造形ワークショップ?感じたことを形にしてみよう?」の記録です。日本女子大学助教授（当時）の西村陽平氏を講師に迎え、参加者はアイマスクをして物に触れたり音を聴いて感じたことを粘土で表現したり、それらの作品に触って楽しむなどの体験をしました。
S13184	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 賑わい・潤い・憩いのストリート、明日の定禅寺を語る	0時間50分	制作年：2004 この映像は、2004年12月25日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「smtオープンカフェ 光のひろば」のトーク「賑わい・潤い・憩いのストリート、明日の定禅寺を語る」の記録です。ハロー定禅寺村村長の米竹隆氏をコーディネーターに、シナリオライターの菊池昭典氏、定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員長の尾崎行彦氏、ボーカリストの嘉村尚子氏が出演しました。
S13185	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 街のアルバム製作委員会	2時間37分	制作年：2004 この映像は、2004年7月25日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「smtオープンカフェ 街のアルバム製作委員会」の記録です。刻々と変わりゆく仙台の街並みを残された写真や映像から記憶をたどりつつ、未来に何を伝えるべきか話し合いました。
S13186	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ アートNPOフォーラム（1）街のあらゆる場所が表現の場である	0時間54分	制作年：2004 この映像は、2004年8月4日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「smtオープンカフェ アートNPOフォーラム仙台セッション」の記録です。ニッセイ基礎研究所の吉本光宏氏をコーディネーターにして「街のあらゆる場所が表現の場である」をテーマに、千葉大学の長田謙一氏と「TANABATA.org アートプロジェクト」を企画した宮城教育大学の村上タカシ氏から話をうかがいました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13187	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt オープンカフェ アートNPO フォーラム（2） アートが待ちの顔になる	0時間59分	制作年：2004  この映像は、2004年8月4日にせんだいメディアテーク1Fオープンスクエアで行われた「smt オープンカフェ アートNPOフォーラム仙台セッション」の記録です。ニッセイ基礎研究所の吉本光宏氏をコーディネーターにして「アートが街の顔になる」をテーマに、アサヒビール芸術文化財団の加藤種男氏、美術ジャーナリストでBankARTの村田真氏から話をうかがいました。
S13188	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt オープンカフェ アートNPO フォーラム（3）	1時間3分	制作年：2004  この映像は、2004年8月4日にせんだいメディアテーク1Fオープンスクエアで行われた「smt オープンカフェ アートNPOフォーラム仙台セッション」の記録です。前段に行われた二つのセッションをふまえ、地域にとってアートNPOが果たすべき役割について話し合いました。
S13190	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	85/05-幻のつくば写真美術館からの20年 あるコレクターの夢ー復活「つくば写真美術館」20年目の写真	1時間49分	制作年：2005  ツァイト・フォト・サロン代表の石原悦郎氏による講演会の記録や、写真評論家飯沢耕太郎氏によるトークの記
S13191	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	85/05-幻のつくば写真美術館からの20年 たまごと塩の写真館一日光写真村Ⅱ	0時間40分	制作年：2005  東京都現代美術館の三橋純与氏を迎え、19世紀に発明された卵と塩でつくる印画紙の作成から写真撮影までのワークショップの記録
S13192	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	85/05-幻のつくば写真美術館からの20年 東アジア写真都市ネットワーク会議	2時間34分	制作年：2005  韓国の金升坤氏、台湾の呉嘉賓氏、そして飯沢耕太郎氏ら3カ国の写真評論家が集い、討論したシンポジウムの記録
S13193	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	20世紀デザインの異才、ジャン・ブルーヴェ 都市戦略としてのデザインの可能性ー工芸指導所、ヴィトラ・	1時間30分	制作年：2005  「都市戦略としてのデザインの可能性」をテーマに、都市とデザインについてパネルディスカッションを行った記録
S13194	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいアートアニュアル2005	1時間54分	制作年：2005  「至福のとき」というテーマで作品募集をした第5回せんだいアートアニュアル、その審査結果発表会の記録



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13195	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいデザインリーグ2006 卒業設計日本一決定戦公開審査（前編）	2時間56分	制作年：2005 仙台で建築学を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で、全国から集まった卒業設計から日本一を決定した公開審査の記録（前編）
S13196	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいデザインリーグ2006 卒業設計日本一決定戦公開審査（後編）	1時間50分	制作年：2005 仙台で建築学を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で、全国から集まった卒業設計から日本一を決定した公開審査の記録（後編）
S13197	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ドキュメンタリー：あの場所を生きる記憶トーク	0時間40分	制作年：2005 『阿賀に生きる』から12年後に撮られた、『阿賀の記憶』の上映後に行った、監督の佐藤真氏によるトークの記録
S13198	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	成瀬巳喜男監督特集トーク	1時間41分	制作年：2005 『成瀬巳喜男の世界』の編者である映画評論家の蓮實重彦氏と、山根貞男氏による対談の記録
S13199	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	『トーリ』&『ソラノ』上映+トーク	0時間58分	制作年：2005 山岡信貴氏がプロデュースした、俳優の浅野忠信監督の『トーリ』とそのメイキング『ソラノ』の上映およびトークの記録
S13200	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	イメージの庭（1）村田朋泰/俺の路/仙台主情主義トーク	1時間45分	制作年：2005 あたたかみのあるクレイ・アニメーションで知られる村田朋康氏を迎え、上映や展示のほか、美術を志す学生と行った対話の記録
S13201	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	イメージの庭（2）脳の中の鼓動 トーク 児玉裕一	0時間36分	制作年：2005 ミュージック・ビデオやコマーシャルなどの映像表現を中心とした特集、映画ディレクターの児玉裕一氏によるトークの記録

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13202	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	イメージの庭（2） 脳の中の鼓動 トーク teevee graphics	0時間34分	制作年：2005 映画集団 teevee graphics の小島淳二氏と谷篤氏を迎えて行ったトークの記録
S13203	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ぴあフィルムフェスティバルin仙台2005 トーク 石井聰互	1時間5分	制作年：2005 当館7階スタジオシアターで行われた、仙台限定プログラムで来場した石井聰互監督によるトークの記録
S13204	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	五感の都市へ 仙台 芸術遊泳2005 アートセンター円卓会議（前編）	2時間19分	制作年：2005 当館1階オープンスクエアで行われた、「アートセンター円卓会議—最新プロジェクト紹介から相互連携の可能性まで—」の記録（前編）
S13205	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	五感の都市へ 仙台 芸術遊泳2005 アートセンター円卓会議（後編）	2時間1分	制作年：2005 当館1階オープンスクエアで行われた、「アートセンター円卓会議—最新プロジェクト紹介から相互連携の可能性まで—」の記録（後編）
S13206	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	フォトゼミ 特別編 中村ハルコさんからの贈り物	1時間16分	制作年：2005 急逝した仙台在住の写真家・中村ハルコ氏を偲び、スライドショーや親交の深い方々によるトークの記録
S13207	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ フランスからみたメディアテーク	0時間48分	制作年：2005 当館1階オープンスクエアで行われた、「フランスからみたメディアテーク s m t 紹介番組完成披露」でのトークの記録
S13208	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	s m t オープンカフェ 仙台がアートの街になる	1時間47分	制作年：2005 当館1階オープンスクエアで行われた、「仙台がアートの街になる—視覚芸術振興くみあい・オープニングフォーラム」の記録
S13209	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	未完成*ファイナリスト 栄光のその先		制作年度：2014

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13210	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える（4）界面活性力？／見るべきものを見ずに、見ないでいいものを見る	1時間57分	制作年：2015 この映像は、2015年8月8日にオープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える 4 界面活性力？／見るべきものを見ずに、見ないでいいものを見る」の記録です。伊達伸明氏（美術家）による自身の活動紹介、さらに鷺田清一（せんだいメディアテーク館長／哲学者）との対話を通じて、現代におけるアートのあり方について、ともに考えました。
S13211	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	GUNDAM 来たるべき未来のためにトーク「燃え上がれガンダム展」	1時間57分	制作年：2015 この映像は、メディアテーク6階ギャラリー4200での「GUNDAM 来たるべき未来のために」（2006年4月19日—5月21日）の関連企画として、5月5日に1階オープンスクエアで行われたトークの記録です。テレビアニメ『機動戦士ガンダム』に影響を受けた世代の作家らによる「戦争」「進化」「生命」をテーマに表現する本展を企画したキュレーターの東谷隆司氏が、企画時のエピソードやガンダムへの思いを語りました。
S13212	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青葉縁日—marginal affair— 展示風景	0時間14分	制作年：2015 この映像は、2006年7月22日—8月20日にメディアテーク6階ギャラリー4200で行われた「青葉縁日—marginal affair—」の展示風景の記録です。アートをめぐってさまざまな活動を展開する学生や市民グループが集い、縁日の露店に見立てた作品やワークショップを繰り広げました。出展作家：KOSUGE1-16、しりあがり寿、hokusui、がんがんモリィ、GG、トコトン実行委員会
S13213	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青葉縁日—marginal affair— しりあがりさんと描こう・おえかきワークショップ	0時間21分	制作年：2015 この映像は、メディアテーク6階ギャラリー4200での「青葉縁日—marginal affair—」（2006年7月22日—8月20日）の関連企画として、8月5日に1階オープンスクエアで行われたワークショップの記録です。仙台七夕にちなみ、漫画家のしりあがり寿氏と一緒に、七夕飾りの張り子のぼんぼりに毛筆で自由に絵を描きました。
S13214	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青葉縁日—marginal affair— 帰ってきたヂヤイ神楽	0時間29分	制作年：2015 この映像は、メディアテーク6階ギャラリー4200での「青葉縁日—marginal affair—」（2006年7月22日—8月20日）の関連企画として行われたパフォーマンスの記録です。ヂヤイ神楽は、2003年度事業「架空の郷土芸能作りますワークショップ」（講師：三輪真弘）で制作された作品で、そのワークショップ参加者が中心となり演じられました。
S13215	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Re: search オーストラリアと日本のアート・コラボレーション 展示風景	0時間13分	制作年：2015 この映像は、2006年11月26日—12月25日にメディアテーク6階ギャラリー4200で行われた「Re: search オーストラリアと日本のアート・コラボレーション」の展示風景の記録です。情報技術によるコミュニケーションのグローバル化の中にある地方都市の姿を、二国の作家が仙台で滞在制作し、さまざまなメディアで表現しました。出展作家：アレックス・デイス、クレイグ・ウォルシュ、ヘインズ／ヒンターディング、志賀理江子、平川紀道、The SINE WAVE ORCHESTRA

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13216	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいデザインリーグ2007 卒業設計日本一決定戦 公開審査（前編）	1時間34分	制作年：2015 この映像は、2007年3月10日—5日にメディアテーク6階ギャラリー4200で行われた「せんだいデザインリーグ 卒業設計日本一決定戦」の公開審査（3月11日）の記録です。仙台で建築を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で、全国から集まった卒業設計から日本一を決定しました。
S13217	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいデザインリーグ2007 卒業設計日本一決定戦 公開審査（後編）	2時間38分	制作年：2015 この映像は、2007年3月10日—5日にメディアテーク6階ギャラリー4200で行われた「せんだいデザインリーグ 卒業設計日本一決定戦」の公開審査（3月11日）の記録です。仙台で建築学を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で、全国から集まった卒業設計から日本一を決定しました。
S13218	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	イメージの庭 vol.3 “Saccadic Suppression” トーク	1時間20分	制作年：2015 この映像は、メディアテーク1階オープンスクエア、7階スタジオシアター等での「イメージの庭 vol.3 “Saccadic Suppression”」（2006年6月5日—14日）の関連企画として6月10日に行われたトークの記録です。マンガ家・映像作家のタナカカツキ氏を迎え、制作の背景や方法についてうかがいました。
S13219	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	活版印刷ワークショップ	0時間55分	制作年：2015 この映像は、2006年7月22-23日にメディアテーク地下1階準備室で行われたワークショップの記録です（解説部分を収録）。はじめて活版印刷にふれる方を対象に、当館の活版印刷機を使って、オリジナルのポストカードを作りました。
S13220	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいメディアテーク子ども教室 火星の旅（こども映画教室【映画をつくらう】成果作品）	0時間19分	制作年：2015 この映像は、2005年7月-2006年3月にかけて主にメディアテーク7階スタジオで行われた「せんだいメディアテーク子ども教室：子ども映画教室」でのプログラム「映画をつくらう」（2006年2月）で子どもたちがつくった作品「火星の旅」です。放課後、スタジオに通った子どもたちがコマ撮りアニメーションの技法を使って作品をつくりました。
S13221	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smt写真講座 フォトゼミ vol.3 Kaitenkai Live in smt by 屋代敏博 — 回転の先に未来が見えた!	0時間13分	制作年：2015 この映像は、2007年1月27日—28日にメディアテーク1階オープンスクエアで行われたワークショップの記録です。さまざまな場所で回転する自分の姿の残像を写した作品「回転」シリーズで知られる写真家・屋代敏博氏とともに、参加者がみんな作品をつくりました。
S13222	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smtオープンカフェ おしえてけさin一番町—昭和の街並講座	1時間20分	制作年：2015 この映像は、smtオープンカフェ「新緑・茶・席—杜の都へようこそ!」（2006年4月29日—5月7日）の一環で、5月3日に行われたトーク「おしえてけさin一番町—昭和の街並講座」の記録です。仙台の中心市街を支え続けてきた一番町通りの古い地図や写真をもとに、さまざまな思い出を語り合いました。
S13223	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smtオープンカフェ 世界ピンホール写真Day	0時間18分	制作年：2015 この記録は、2006年4月29日—5月7日にメディアテーク1階オープンスクエアでの「smtオープンカフェ 新緑・茶・席～杜の都へようこそ!」の一環として4月30日に行われた「世界ピンホール写真Day」の記録です。ピンホールカメラ（針穴写真機）づくりと、それを使って実際に撮影をしました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S13224	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	without records（展示風景）	0時間7分	制作年：2015 この映像は、2007年1月11日—24日にメディアテーク1階オープンスクエアで展示されたインスタレーション作品「without records—記録なき記憶 66台のポータブル・レコード・プレイヤーによる無人オーケストラ」の展示風景の記録です。音楽家の大友良英氏と美術家の青山泰知氏を中心とし、全国から寄せられたポータブル・レコード・プレイヤーをもとにボランティアスタッフの手により作り上げられました。
S13225	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 黒川郡大和町の曾根つき子の語り（1）	3時間35分	制作年：2015 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、黒川郡大和町の曾根つき子さんの語りを小田嶋利江・小野和子を聞き手としてまとめたものです。
S13226	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 黒川郡大和町の曾根つき子の語り（2）	4時間9分	制作年：2015 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、黒川郡大和町の曾根つき子さんの語りを小田嶋利江・小野和子を聞き手としてまとめたものです。
S13227	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 黒川郡大和町の曾根つき子の語り（3）	3時間27分	制作年：2015 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、黒川郡大和町の曾根つき子さんの語りを小田嶋利江・小野和子を聞き手としてまとめたものです。
S13228	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 黒川郡大和町の曾根つき子の語り（4）	3時間24分	制作年：2015 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、黒川郡大和町の曾根つき子さんの語りを小田嶋利江・小野和子を聞き手としてまとめたものです。
S16001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊藤豊雄 新しいリアル   展示風景	0時間11分	制作年度：2016年 この映像は、2007年4月13日-5月19日に6階ギャラリー4200で行われた展覧会「伊東豊雄 建築   新しいリアル」の展示風景を記録したものです。世界的な建築家・伊東豊雄氏の代表作でもある当館を会場にした本展は、会場空間そのものが最も重要な展示作品ともいえる稀有な構成の展覧会であり、トークセッションや館内を歩くツアー、子どもたちを対象としたワークショップなど、さまざまな角度から同氏の建築を探る機会となりました。
S16002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	記念講演会+トークセッション	2時間41分	制作年：2016 この映像は、展覧会「伊東豊雄 建築   新しいリアル」の関連企画として2007年4月14日に1階オープンスクエアで行われた伊東氏による記念講演会「新しいリアル」、および、トークセッション「せんだいメディアテークから」の記録です。登壇：伊東豊雄、Kevin E. Consey（カリフォルニア大学UCバークレー校附属美術館フィルムアーカイブ館長）、瀧口範子（ジャーナリスト）、五十嵐太郎（建築史・批評家）

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smtエキジビション・ツアー	1時間7分	制作年：2016 この映像は、展覧会「伊東豊雄 建築   新しいリアル」の関連企画として2007年4月15日、5月4日、5月19日に行われた「smtエキジビション・ツアー」の記録です（4月15日分を収録）。当時建設に関わった伊東豊雄建築設計事務所の古林豊彦氏の案内により、当館そのものが伊東氏の設計によるものであることを生かし、展覧会の内容のほか、館内をくまなく歩いて解説しました。
S16004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	こどもの日企画「伊東豊雄さんのワークショップ」	1時間0分	制作年：2016 この映像は、展覧会「伊東豊雄 建築   新しいリアル」の関連企画として2007年5月5日（こどもの日）に1階オープンスクエアで行われた「伊東豊雄さんのワークショップ」の記録です。親子20組が参加し、宿題として作ってきた建築模型に対して伊東氏がそれぞれに講評を加えたり、オープンスクエアいっぱいひろげた街の地図の上に建物を作るなどしました。
S16005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青葉緑日II??おもしろ改造工場の夏祭り（展示風景）	0時間12分	制作年：2016 この映像は、2007年7月22日-8月27日に6階ギャラリー4200で行われた「青葉緑日II??おもしろ改造工場の夏祭り」の展示風景の記録です。2005年度に引き続き、子どもから大人まで体験型のアートを楽しめる展覧会として2回目の開催となった本展は、日用品を改造して楽しむ“ベンディング”をテーマとしました。出展作家：エキソニモ、KOSUGE1-16、タノタイガ、堀尾寛太、梅田哲也、hokusui、村上タカシ+がんがんモリイ、東北工業大学槻橋修研究室+渡邊武海
S16006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	光の航跡 off nibroll	0時間6分	制作年：2016 この映像は、2007年12月1日-24日に6階ギャラリー4200で行われた「光の航跡 off nibroll」の展示風景の記録です。当館も参加し、宮城県美術館等でも展開された仙台視覚芸術振興ネットワーク（SCAN）による「仙台芸術遊泳2007 光と都市」の一環として、映像と身体表現を融合させたユニットoff nibrollによる映像インスタレーション『HOWL』などを展示しました。
S16007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「子どもと映画」ワークショップ	0時間34分	制作年：2016 この映像は、「せんだいメディアテーク月例上映会（7月・8月）子どもと映画」の関連企画として2007年7月28日・29日の2日間にわたり7階スタジオbで行われたワークショップの記録です。映像が動く仕組みを体験的に理解するために、16ミリフィルムにペンで直接絵を描いたり、針でかき傷をつけたりしてつくるアニメーションに取り組みました。
S16008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ATG 現在と未来 トーク（1）	0時間43分	制作年：2016 この映像は、2008年3月22日・23日に7階スタジオシアターで行われた「せんだいメディアテーク月例上映会」のひとつ「ATG 現在と未来 #2」でのトークの記録です（3月22日収録）。1960-80年代にかけて実験的な映画の制作・配給により日本映画史に影響を与えた日本アート・シアター・ギルド（ATG）のなかから『ガキ帝国』（監督：井筒和幸/1981年）を上映したあと、映画研究者の藤井仁子氏を迎えて話をうかがいました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ATG 現在と未来トーク（2）	0時間28分	制作年：2016 この映像は、2008年3月22日・23日に7階スタジオシアターで行われた「せんだいメディアテーク月例上映会」のひとつ「ATG 現在と未来#2」でのトークの記録です（3月22日収録）。1960-80年代にかけて実験的な映画の制作・配給により日本映画史に影響を与えた日本アート・シアター・ギルド（ATG）のなかから『生きている小兵次』（監督：中川信夫／1982年）を上映したあと、『砂の影』（2008年）で知られる映画監督の甲斐田裕輔氏を迎えて話をうかがいました（聞き手：藤井仁子氏〔映画研究者〕）。
S16010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ATG 現在と未来トーク（3）	0時間49分	制作年：2016 この映像は、2008年3月22日・23日に7階スタジオシアターで行われた「せんだいメディアテーク月例上映会」のひとつ「ATG 現在と未来#2」でのトークの記録です（3月23日収録）。1960-80年代にかけて実験的な映画の制作・配給により日本映画史に影響を与えた日本アート・シアター・ギルド（ATG）のなかから『サード』（監督：東陽一／1978年）を上映したあと、『パンドラの匣』（2009年）で知られる映画監督の富永昌敬氏のお話をうかがいました。
S16011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊藤トオル氏と飯沢耕太郎氏によるトークショー	1時間44分	制作年：2016 この映像は、2008年2月23日に6階ギャラリー4200で行われた「フォトゼミ04：伊藤トオル氏と飯沢耕太郎氏によるトークショー」の記録です。「写真新世紀 仙台展」を記念し、1997年に同展特別賞を受賞、また、10人の写真家たちが仙台の街と建物を写してきた「仙台コレクション」代表である伊藤トオル氏と、写真評論家の飯沢耕太郎氏がトークを行いました。
S16012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	トークセッション（1）「アートで社会を創造する」	1時間47分	制作年：2016 この映像は、2008年2月23日に7階スタジオdで行われた「共有と連携のデザイン：トークセッション（1）『アートで社会を創造する』」の記録です。NPO法人記録と表現とメディアのための組織〔remo〕理事でインディペンデント・キュレーターの雨森信氏を迎えて、映像を中心とした表現と社会を結びつける取り組みの事例と、さまざまな活動を通じて場をつくることについての話をうかがいました。
S16013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	トークセッション（2）「地方からメディアをデザインする」	1時間7分	制作年：2016 この映像は、2008年3月8日に7階会議室aで行われた「共有と連携のデザイン：トークセッション（2）『地方からメディアをデザインする』」の記録です。札幌を拠点としながら日本と世界のクリエイティブ・カルチャーに関する情報をつなげるオンラインマガジン「SHIFT」を立ち上げた大口岳人氏を迎えて、バーチャルやリアルなスペースでのコミュニティ、そして「地域／地方」についての話をうかがいました。
S16014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	トークセッション（3）「モノづくりの環境とプログラム」	2時間9分	制作年：2016 この映像は、2008年3月15日に7階スタジオbで行われた「共有と連携のデザイン：トークセッション（3）『モノづくりの環境とプログラム』」の記録です。大量生産・大量消費からの転換を図って新しいモノづくりと流通の仕組みを実践するクリエイティブ・ユニットgraf代表の服部滋樹氏を迎えて、これまで手がけてきたさまざまな事例をもとにモノづくりのための場についての話をうかがいました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	トークセッション（4）「まちを『かもす』?公募・工房・酵母?」	2時間4分	制作年：2016 この映像は、2008年3月16日に7階スタジオbで行われた「共有と連携のデザイン：トークセッション（4）『まちをくかもす?公募・工房・酵母?』」の記録です。前年度の「スタジオ・トークセッション?共有のデザインを考える?」のコーディネーターを務めた渡辺保史氏を迎えて、自身が拠点とする函館での事例などを挙げながら、文化的な生産物の市場としての公共施設の可能性についての話のうかがいがありました。
S16016	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Infinite & Loop 公開ワークショップ	0時間45分	制作年：2016 この映像は、2008年3月28日に7階スタジオaで行われた「共有と連携のデザイン」のワークショップによる作品『Infinite & Loop』に関するレクチャーの記録です。クリエイターらによるワークショップを通じて、メディアテークを貫く構造体（チューブ）の内部空間を作品とした試みについて解説しました。
S16017	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映像制作ワークショップ（ビデオレポート編）?仙台戯曲賞プロデュース公演を撮ろう?（成果作品）	0時間43分	制作年：2016 この映像は、2007年9月から2008年3月にかけて行われた「映像制作ワークショップ（ビデオレポート編）?仙台戯曲賞プロデュース公演を撮ろう?」参加者による成果作品です。同年開催された「第3回 仙台劇のまち戯曲賞」で大賞を受賞した作品を舞台化した『ミチユキキサラギ』の制作現場を題材に取材した3本を収録。
S16018	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV（2014年度） その1	1時間36分	制作年：2016 「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作している。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本ソフトは、2014年度につくられた番組のうち、2014年5月から9月に放送されたものを収録している。  収録内容・梅の香に誘われて 水戸 借楽園バスの旅・ことりの杜スタジオ in せんだい?瓢箪の達人・こけしの鍛冶仕事一道具作り・ことりの杜スタジオ in せんだい?専門学校デジタルアーツ仙台 声優科ってどんなところ?・仙台市のシンボルツリー 街路樹 けやき・ことりの杜スタジオ in せんだい?若い演奏家のためのプロジェクト・清涼 国宝 大崎八幡宮・ことりの杜スタジオ in せんだい?「仙台大空襲」を語り継ぐ・地下鉄東西線について・ことりの杜スタジオ in せんだい?野外演劇『劇団どくんご』



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16019	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV（2014年度） その2	1時間51分	<p>制作年：2016</p> <p>「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作している。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本ソフトは、2014年度につくられた番組のうち、2014年10月から2015年4月に放送されたものを収録している。</p> <p>収録内容 ・ホテルと歩む暮らし 青葉山?広瀬川 ・3rd 気仙沼ストリートライブフェスティバル ・麦わら帽子の会 仙台 ・効用の「定義」を訪ねて ・輪王寺の紅葉 ・10-BOX「夏の学校」?夏の学校で出会った仲間たち ・仙台工業高校模型部 2014年の活動 ・遠刈田系伝統こけし工人 木地師 佐藤正廣さん ・鳴子こけし工人 後藤皓さん ・ことりTVをつくる ・癒しのフラワーエッセンス ・東日本大震災「3.11 祈りのコンサート」をつくる心?10年先までも音楽で寄り添って ・仙台大観音の内部に迫る！</p>
S16020	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	物語りのかたちトークセッション1「物語る人」	2時間3分	<p>制作年：2016</p> <p>この映像は「物語のかたち」展の関連イベントとして、2015年11月22日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーホワイエで行われた小野和子氏（民話探訪者）と、野家啓一氏（哲学者）の対談の記録です。「物語る」という行為を注視する野家氏を聞き手に迎え、東北で多くの伝承民話の語り手と人生をともにしている小野氏の探訪活動について伺いながら、「物語」とそれが生まれる「物語り行為」について考えました。</p>
S16021	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	物語りのかたちトークセッション2「言葉について思うこと」	2時間5分	<p>制作年：2016</p> <p>この映像は「物語りのかたち」展の関連イベントとして、2015年11月29日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーホワイエで行われた鷺田清一館長と来場者のみなさんとの対話の記録です。2013年度から「対話の可能性」というテーマを軸に行ってきたプロジェクトを振り返りながら、鷺田館長とともに「言葉について思うこと」について考えました。「物語ることの重要性」、「語り得ぬこと」、「言葉の肌理を聞き取ること」などが話されました。</p>
S16022	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	メディアテークから考えるこれからのアート	2時間54分	<p>制作年：2016</p> <p>この映像は、2016年1月23日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「メディアテークから考えるこれからのアート」の記録です。文化・芸術活動の創造性により若い世代の活力や復興を図るための取り組み、そこでのメディアテークの果たすべき役割について話し合いました。ゲスト：北川フラム／やなぎみわ アドバイザー：藤浩志／帆足亜紀／住友文彦 ファシリテーター：本江正茂 座長：鷺田清一</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16023	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ファッション／世の中にはもっと魔法が必要です。	2時間6分	制作年：2016 この映像は、2015年12月22日にオープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える5ファッション／世の中にはもっと魔法が必要です。」の記録です。山縣良和氏（ファッションデザイナー）による自身の活動紹介、さらに鷺田清一館長との対話を通じて、現代におけるファッションのあり方について、ともに考えました。
S16024	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	物語りのかたち 現在に映し出す、あったること（展示風景）	0時間17分	制作年：2016 この映像は、2015年10月31日から2016年1月10日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された展覧会「対話の可能性 物語りのかたち 現在に映し出す、あったること」の展示記録です。この展覧会は、当館が「みやぎ民話の会」と協働で行ってきた東北の民話の記録活動をもとに、美術や漫画の作家が、現代において民話とはなにかを捉え直し、かたちに表したものです。展示作家：いがらしみきお、山本高之、田村友一郎
S16025	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話ゆうわ座3「笠地藏」	3時間3分	制作年：2016 この映像は、2015年12月27日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った「考えるテーブル『民話 ゆうわ座』」の記録です。市民協働団体・みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームがホストを務め、絵本の中に描かれた一般的な「笠地藏」と、東北伝承の「笠地藏」とを聞きくらべ、「再話」について考えました。また、この民話のもつ深みについて来場者とともに対話しました。
S16026	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	方言でやっぺ！名取 閑上版桃太郎	0時間38分	制作年：2014 このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である櫛引祐希子さんが、2014年3月22日に、宮城県名取市美田園第一仮設住宅集会所で撮影した、「方言を語り残そう会」による被災者支援活動の様子です。【制作者コメント】“方言”で被災者を支援している宮城県名取市の「方言を語り残そう会」。2011年から始めた美田園第一仮設住宅での活動が3年目になるのを記念し、方言劇・桃太郎を企画しました。支援者と被災者が地元の踊りと歌で鬼を退治します。さて、その鬼の正体とは……？  （制作者のコメント） “方言”で被災者を支援している宮城県名取市の「方言を語り残そう会」。2011年から始めた美田園第一仮設住宅での活動が3年目になるのを記念し、方言劇・桃太郎を企画しました。支援者と被災者が地元の踊りと歌で鬼を退治します。さて、その鬼の正体とは……？

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16027	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	はるのそら	0時間53分	<p>制作年：2014</p> <p>このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である中鉢優さんと濱田直樹さんが、2014年4月13日に、かつて災害ボランティアとして亶理町で活動していたシンガーソングライター「千尋」さんの3年ぶりの現地再訪の様子を記録した映像です。 【制作者コメント】3年ぶりの再訪をきっかけに、かつての自身を振り返り、いまの「わからない」を取り戻そうとこえに落とす。当時、宮城県亶理町に災害ボランティアとして入ったシンガーソングライター「千尋」とその地域の記録です。</p> <p>（制作者のコメント）3年ぶりの再訪をきっかけに、かつての自身を振り返り、いまの「わからない」を取り戻そうとこえに落とす。当時、宮城県亶理町に災害ボランティアとして入ったシンガーソングライター「千尋」とその地域の記録です。</p>
S16028	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Flying Tohoku #1	0時間22分	<p>制作年：2015</p> <p>このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である高野裕之さんが、2014年9月から2015年2月にかけて宮城県名取市・仙台市・南三陸町・石巻市・岩手県陸前高田市で撮影した、ドローンによる空撮映像集です。 【制作者コメント】被災地をドローンで空撮した映像。被災地を空から見つめる旅。</p> <p>（制作者のコメント）被災地をドローンで空撮した映像。被災地を空から見つめる旅。</p>
S16029	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中世山城遺跡新井田館跡を震災復興中央区に変える過程のごく一部	0時間21分	<p>制作年：2016</p> <p>このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である中谷可奈さんが、2013年11月23日と2014年2月9日に宮城県南三陸町志津川で撮影した、津波復興拠点整備事業の造成工事前調査によって現れた中世の山城遺跡「新井田館跡」の映像です。 【制作者コメント】南三陸町志津川の新井田館跡。津波の被害を受けた町の機能は、高台へ移転することが計画され、発掘調査が始まった。姿を現した中世の山城。現地説明会の賑わい。やがて消滅する予定の遺跡。あとにはどのような町が作られるのだろうか？ 未来はまだわからない。</p> <p>（制作者のコメント）南三陸町志津川の新井田館跡。津波の被害を受けた町の機能は、高台へ移転することが計画され、発掘調査が始まった。姿を現した中世の山城。現地説明会の賑わい。やがて消滅する予定の遺跡。あとにはどのような町が作られるのだろうか？ 未来はまだわからない。</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16030	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	福島的光景+α (2014)	0時間16分	<p>制作年：2014</p> <p>このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である岩崎孝正さんが2013年8月から12月にかけて撮影した、福島県飯伊達村・南相馬市・浪江町・富岡町の様子です。 【制作者コメント】3月12日の福島原子力発電所の爆発により、警戒区域、計画的避難区域、特定避難勧奨地点、居住制限区域、避難準備解除区域、帰還困難区域という立入可、立ち入り不可の線引きがなされた。福島風景は土地の現状を伝える。</p> <p>（制作者のコメント）3月12日の福島原子力発電所の爆発により、警戒区域、計画的避難区域、特定避難勧奨地点、居住制限区域、避難準備解除区域、帰還困難区域という立入可、立ち入り不可の線引きがなされた。福島風景は土地の現状を伝える。</p>
S16031	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	村に住む人々	0時間48分	<p>制作年：2014</p> <p>このDVDは、3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者である岩崎孝正さんが、2011年3月から2014年5月にかけて自身の故郷である福島県相馬市磯部地区をめぐり記録した映像です。 【制作者コメント】僕の生まれ育った村は海になっていた——東京での被災、郷里の相馬市磯部に戻り、家族や安否確認で出会う友人たちにあの日からのことを問いかける。そして3年。僧侶の父が執り行う法要、先輩後輩らが奉納して回る神楽。営みを続ける地域の姿を記録していく。</p> <p>（制作者のコメント）僕の生まれ育った村は海になっていた——東京での被災、郷里の相馬市磯部に戻り、家族や安否確認で出会う友人たちにあの日からのことを問いかける。そして3年。僧侶の父が執り行う法要、先輩後輩らが奉納して回る神楽。営みを続ける地域の姿を記録していく。</p>
S16032	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	草アーカイブ会議 アーカイブは誰のもの？	3時間8分	<p>この映像は、2016年3月12日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った「考えるテーブル『草アーカイブ会議 アーカイブは誰のもの？』」の記録です。風景、物語、暮らし、災害など、地域での出来事を記録し伝える、各地の取り組みを紹介し、誰が誰のためのアーカイブをどのように育てていくのかを来場者とともに考えました。</p>
S16033	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台市立木町通小学校6年生 木町のたから2015	1時間23分	<p>「木町のたから」は、木町通小学校とせんだいメディアテークが連携する授業のひとつとして、2011年度から取り組んできたものです。6年生の子どもたちが、暮らす地域や学校生活を振り返り、自分にとって大切なことや場所を1分間の映像にまとめました。本作は、子どもたちそれぞれの表現であるとともに、将来にわたって地域の記録を伝える記録でもあります。</p>
S16034	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	写★新世界 パリ、ニューヨーク、東京、そして上海（展示風景）	0時間6分	<p>この映像は、2008年7月20日-8月25日にせんだいメディアテーク6階ギャラリー4200で行われた展覧会「写★新世界（しゃしんせかい）パリ、ニューヨーク、東京、そして上海」の展示風景を記録したものです。うつろい激しい近・現代史において、成長著しかったパリ、ニューヨーク、東京、そして上海という大都市と群衆を映し出した写真を展示し、写真、そして、都市の過去と未来を一望しました。出展作家：ウジェーヌ・アジェ、リー・フリードランダー、島山直哉、馬六明 ほか</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16035	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スター★ツアー	0時間46分	この映像は、「写★新世界」展（2008年7月20日-8月25日）の関連企画として、8月8日に行われた「スター★ツアー」（ギャラリー・トーク）の様子を記録したものです。この日は、仙台七夕にあわせて延長された夜間開館中に行われた同ツアー（8月5-8日）の特別回で、出展作家のひとり、当館建設時の写真も撮影している畠山直哉氏が来場し、ギャラリーでの解説のほか、館内の「とっておきの場所」を案内しました。
S16036	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	高嶺格 大きな休息 明日のためのガーデニング1095㎡（展示風景）	0時間8分	この映像は、2008年11月29日-12月24日に6階ギャラリー4200で行われた展覧会「高嶺格 大きな休息 明日のためのガーデニング1095㎡」の展示風景を記録したものです。造形美術、映像、パフォーマンス、そして舞台演出まで、身体を主軸にしながらかんげやかにジャンルを横断する表現者・高嶺格氏の作品世界を紹介する本展は、新作だけではなく、過去の作品をふくめ、さまざまな方面の協力により仙台で制作されました。
S16037	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	《大きな停止》鑑賞風景	0時間26分	この映像は、「高嶺格 大きな休息 明日のためのガーデニング1095㎡」（2008年11月29日-12月24日）における、新作インスタレーション《大きな停止》の鑑賞の様子を記録したものです。この作品は、目の不自由な方々が観客を案内して共に鑑賞する仕組みで、毎回30分程度のツアーを行いました。そのなかのある回を記録したものです。
S16038	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	卒業設計日本一決定戦 公開審査	1時間6分	この映像は、2009年3月8日に東北大学百周年記念館・川内萩ホールで行われた「せんだいデザインリーグ2009 卒業設計日本一決定戦」（主催：仙台建築都市学生会議／せんだいメディアテーク。展示は3月8日-15日／当館6階ギャラリー4200にて）で行われた公開審査の記録です。同大会は、仙台で建築を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で実施し、全国から集まった卒業設計から日本一を決定するものです。審査員：難波和彦／妹島和世／梅林克／平田晃久／五十嵐太郎
S16039	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ディスカッション「都市に映画の文脈（コンテキスト）を育む」	1時間5分	この映像は、2008年8月29日に1階オープンスクエアで行われた「全国コミュニティシネマ会議2008 in仙台」（主催：仙台市／財団法人仙台市民文化事業団／コミュニティシネマセンター／財団法人国際文化交流推進協会）でのディスカッションの記録です。全国の映画祭やミニシアターなどが集まる同会議はじめての仙台開催で、「都市に映画の文脈（コンテキスト）を育む」をテーマに議論しました。登壇：小野田泰明（東北大学大学院工学研究科教授）／佐伯知紀（文化庁文化部芸術文化課芸術文化調査官、映画史家）／堀越謙三（東京芸術大学教授、ユーロスペース・映画美学校代表、コミュニティシネマセンター事業推進委員長）／小泉秀樹（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授）＊肩書きは当時
S16040	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	フランス映画の秘宝 レクチャー	0時間52分	この映像は、2008年9月20日に7階スタジオシアターで行われた上映会「フランス映画の秘宝」でのレクチャーの記録です。これまで日本国内で公開されることの少なかった古今のフランス映画を特集したもので、『あなたの目になりたい』（サシャ・ギトリ監督／1943年）の上映後に、蓮實重彦氏（映画評論家、フランス文学者）が講演しました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16041	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	History, His story!	0時間56分	この映像は、2008年7月20日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー [1] History, His story!」の記録です。「写★新世界 パリ、ニューヨーク、東京、そして上海」展にちなみ、監修者の港千尋氏（写真家／写真評論家）と企画協力の石原悦郎氏（ツアイト・フォト・サロン代表）を迎え、4都市と写真にまつわるエピソードをお話いただきました。
S16042	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	北京を読み解く10の視点-都市の新しい見方、描き方	1時間42分	この映像は、2008年8月24日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー [2] 北京を読み解く10の視点-都市の新しい見方、描き方」の記録です。新しいタイプのガイドブックでもあり都市論でもある『北京論-10の都市文化案内』著者で、当館の建設にも携わった建築家の松原弘典氏を迎えお話しいただきました。
S16043	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	シネマテークの“昨日・今日・明日”	1時間17分	この映像は、2008年9月21日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー [3] シネマテークの“昨日・今日・明日”」の記録です。東京国立近代美術館フィルムセンターの岡田秀則氏を迎え、世界のシネマテークの歴史と現状、そして、日本のそれであるフィルムセンターにおけるアーカイブについてお話しいただきました。＊本資料は2008年度に発行した同名DVDと同じ内容です。
S16044	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	新たな才能と映画をつくる	1時間17分	この映像は、2008年10月26日に7階スタジオaで行われた『スタジオ・レクチャー [4] 新たな才能と映画をつくる』の記録です。若手映画作家の登竜門として有名な『ぴあフィルムフェスティバル』での映画制作事業『PFFスカラシップ』のプロデューサーである天野真弓氏を迎えお話しいただきました。
S16045	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	明日のためのガーデニング	1時間45分	この映像は、2008年11月29日に6階ギャラリー4200ホワイエで行われた『スタジオ・レクチャー [5] 明日のためのガーデニング1095㎡』の記録です。「高嶺格 大きな休息 明日のためのガーデニング1095㎡」展にちなみ、高嶺格氏と本展監修者の吉岡洋氏を迎えて、過去の作品から新作にいたるまでの過程や通底する課題についてお話しいただきました。
S16046	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	地図を見る目	1時間19分	この映像は、2008年12月21日に7階スタジオaで行われた『スタジオ・レクチャー [6] 地図を見る目』の記録です。公園や広場、都市景観をデザインするランドスケープ・アーキテクトであり、GPSを持って街を動き回り、その軌跡で“現代版ナスカの地上絵”を作り出す地上絵師でもある石川初氏を迎え、地図のおもしろさとその可能性についてお話しいただきました。
S16047	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ビデオ・インタビュー「インタビューのコツ1」	0時間57分	この映像は、2009年2月14日-3月28日に行われたワークショップ「スタジオ・ラボ ビデオインタビュー『goban tube cafeの仕掛け人に聞く』」でのレクチャーの記録です。仙台のテレビ番組等で司会やリポーターとして活動している松本有美氏を招き、インタビューをする際に気をつけていることや工夫についてお話しいただきました。
S16048	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ビデオ・インタビュー「インタビューのコツ2」	0時間43分	この映像は、2009年2月14日-3月28日に行われたワークショップ「スタジオ・ラボ ビデオインタビュー『goban tube cafeの仕掛け人に聞く』」でのレクチャーの記録です。仙台のラジオ番組でパーソナリティを務める鈴木美範氏を招き、インタビューをする際に気をつけていることや工夫についてお話しいただきました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16049	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ビデオ・インタビュー「goban tube caféの仕掛け人に聞く」（成果作品）	0時間29分	この映像は、2009年2月14日-3月28日に行われたワークショップ「スタジオ・ラボ ビデオインタビュー『goban tube cafeの仕掛け人に聞く』」の成果作品です。スタジオを使って、街と人の記録をつくるこのワークショップでは、2008年5月に設けられた仮設のカフェスペース「goban tube cafe」で企画をした方へのインタビューを題材に取り組みました。
S16050	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ活動成果品（2008年度）	0時間52分	この映像は、2008年度のスタジオを利用した団体が制作したものです（一部）。2009年3月28日に7階スタジオシアターで行われた「smtvシアター」でも上映されました。収録内容：「仙台天文台 in 西公園」（制作：仙台市民メディアネット）「天文台ラストイベント in 西公園」（制作：仙台市民メディアネット）「市民環境講座-ともしびdeナイト-」（制作：ビデオ企画ぼぼ）「けやきのその後-材料になるまで-」（制作：加藤知枝）「ファッションショー／妖精／かぶキング／魔王」（制作：広瀬市民センター）
S16051	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「気配の音」シリーズ（展示風景）	0時間7分	この映像は、当館南東側の構造体（通称：5番チューブ）内部とその周辺をメディアと用いた表現で活用していくシリーズ企画の一環として、2008年度に行った展示シリーズの記録です。「気配の音」をテーマとして、3期にわたり展示を行いました。第1期：「mute witness 無言の目撃者」（作家：瀬川雄太／2008年7月26日-9月21日）第2期：「ELECTRICAL BEHAVIOR 電気な振る舞い」（作家：梅田哲也／2008年10月4日-12月24日）*写真のみ 第3期：「Droppin 階段内の諸段階」（作家：Public Vacancy Office／2009年1月13日-2月16日）
S16052	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ART仙台場所 どんどこ!巨大紙相撲 仙台場所	0時間7分	この映像は、一番町四丁目商店街と定禅寺通りを会場としたアートプロジェクト「ART仙台場所」（主催：仙台アートシティプロジェクト実行委員会 ほか）とのタイアップ・イベントとして、2008年5月3-5日に1階オープンスクエアで行われた「どんどこ!巨大紙相撲 仙台場所」の記録です。アーティスト・ユニットのKOSUGE1-16が考案する、段ボールでつくった等身大の力士による大相撲大会は、出場チームだけでなく、土俵づくりや協賛など、さまざまな人が関わってつくられました。
S16053	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ART仙台場所 定禅寺フォーラム	1時間9分	この映像は、一番町四丁目商店街と定禅寺通りを会場としたアートプロジェクト「ART仙台場所」（主催：仙台アートシティプロジェクト実行委員会 ほか）とのタイアップ・イベントとして、2008年5月2日に1階オープンスクエアで行われた「定禅寺フォーラム『祭り・イベントでの街づくりの可能性を探るシンポジウム』」の記録です。「とっておきの音楽祭」が日本イベント大賞を受賞したことをきっかけに、各地で取り組む方々をまじえて話し合いました。登壇：馬見塚純治（長崎市観光課長）、森絵留（劇団かもめ主宰）、菊地昭典（プロデューサー）、板橋恵子（エフエム仙台）、宮本倫明（プロデューサー）*肩書きは当時

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S16054	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	タイポグラフィ・カフェ	0時間43分	この映像は、2008年6月15日に7階スタジオ goban tube cafeで行われた「タイポグラフィ・カフェ」の記録です。ツキハシ研（東北工業大学槻橋研究室＋渡邊武海）の空間設計・家具デザインにより7階スタジオに設けられた仮設スペース「goban tube cafe」の活用実践として、さまざまな団体がホストとなり行われたイベントの最初の回で、同時期に実施した活版印刷機の展示やワークショップを監修するタイポグラファー・小泉均氏をゲストに迎えました。
S16055	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいメディアテーク2008年度（平成20年度）事業総集編	1時間12分	この映像は、せんだいメディアテーク2008年度（平成20年度）事業記録映像の総集編です。2008年度は、前年度に実施した館内フロアレイアウトの一部変更を経て、多くの新規事業を立ち上げました。特に7階スタジオでの取り組みが拡充し、「スタジオ・レクチャー」「スタジオ・ラボ」、そして「goban tube cafe」などが催され、また、それらもふくめ、外部との連携による事業が多く、また、ふたつの展覧会「写★新世界」「高嶺格 大きな休息」が大きな注目を集めた年でした。
S17001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青葉縁日3 シンポジウム「まちの記憶-地域のくらし映像アーカイブ」	2時間9分	この映像は、2009年8月2日に1階オープンスクエアで行われたシンポジウム「まちの記憶-地域のくらし映像アーカイブ」を記録したものです。同時期に開催された展覧会「青葉縁日3」の関連企画として開かれたこのシンポジウムは、街並みや市井の暮らしを記録した写真や映像による地域映像アーカイブの意義と可能性について、各地の事例報告と意見交換を通じて考えました。（平成21年度 文化芸術による創造のまち支援事業） 基調講演 村松秀（NHKエディケーショナル エグゼクティブ・プロデューサー） 事例報告／パネルディスカッション 渡辺保史（函館マルチメディア推進協議会） 坂本英紀、佐藤正実（NPO法人20世紀アーカイブ仙台） 杉浦裕樹（NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ） 松本篤（NPO法人remo [記録と表現とメディアのための組織]） 進行：佐藤泰（せんだいメディアテーク）
S17002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台芸術遊泳2009 五感の都市へ 総集編	0時間10分	この映像は、2009年10月15日～27日に、せんだいメディアテークほか宮城県内各地で行われたアートプロジェクト「仙台芸術遊泳2009 五感の都市へ」の一部をまとめたものです。仙台・宮城の美術館、博物館、ギャラリー、大学等が相互に連携して2005年から各年で地域の視覚芸術振興に取り組む仙台視覚芸術振興ネットワーク（SCAN）の3回目の開催となりました。（制作年度：2017年）
S17003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	アートセンター円卓会議2 「キュレーターズ・ビジョン-アートセンターの未来像」	3時間34分	この映像は、「仙台芸術遊泳2009」の一環として2009年12月20日に1階オープンスクエアで行われた「アートセンター円卓会議2 キュレーターズ・ビジョン-アートセンターの未来像」を記録したものです。2005年に続き、アーティスト・イン・レジデンスや市民参加の創造活動、ジャンル横断的なプログラムを特色とする各地のアートセンターからパネリストを招き、その未来像について議論しました。パネリスト：柴田尚（特定非営利活動法人S-AIR 代表） 山貝征典（十和田市現代美術館 学芸員） 石山陽子（金津創作の森 学芸員） 原田真千子（秋吉台国際芸術村 キュレーター） モデレーター：新田秀樹（SCANコーディネーター／宮城教育大学教授） 司会：清水建人（SCANコーディネーター／せんだいメディア



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいデザインリーグ2010 卒業設計日本一決定戦 公開審査	4時間16分	この映像は、2010年5月7日に東北六子日周年記念館・川内萩ホールで行われた「せんだいデザインリーグ2010 卒業設計日本一決定戦」（主催：仙台建築都市学生会議／せんだいメディアテーク。展示は3月7日-14日／当館6階ギャラリー4200にて）で行われた公開審査の記録です。同大会は、仙台で建築を学ぶ学生たちによる仙台建築都市学生会議との共催で実施し、全国から集まった卒業設計から日本一を決定するものです。審査員：隈研吾／アストリッド・クライン／ヨコミゾマコト／石上純也／小野田春明
S17005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	smtオープンカフェ ラジオテーク 「電波系メディアについて語ろう」	1時間57分	この映像は、5番テューブ再開発計画 vol.5 「会話する塔 ラジオテーク」の関連イベントとして、「smtオープンカフェ 光のひろば」（2009年12月19-23日／1階オープンスクエアにて）内で12月22日に行われたトーク「ラジオテーク 電波系メディアについて語ろう」の記録です。アマチュア無線やコミュニティラジオなどさまざまな「電波系」の方たちが語りました。
S17006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	活版サテライト展示2 レクチャー	2時間21分	この映像は、2009年6月6日・7日に7階スタジオaで行われた「活版サテライト展示2」でのワークショップとレクチャーの記録です。当館で保存・活用している活版印刷機を使い実際に印刷を体験したほか、小泉均氏を講師に迎え、世代や文化を越えて印刷物に使われてきた書体「ヘルベチカ」についてお話しいただきました。
S17007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	フォトゼミ vol.6 「写真家・畠山直哉氏とめぐるせんだいメディアテークの2時間」	0時間18分	この映像は、2010年2月27日に行われた「smt写真講座フォトゼミ vol.6 『写真家・畠山直哉氏とめぐるせんだいメディアテークの2時間』」の記録です。当館の建設時を記録した写真集『UNDER CONSTRUCTION』をもとに、伊東豊雄建築設計事務所の古林豊彦氏とともに館内を歩きました。
S17008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	子どもたちが映画監督になる日	0時間25分	この映像は、特撮上映「子どもたちが映画をみよう」（2009年6月7-11日）の関連企画として6月6・7日に行われたワークショップの記録です（主催：せんだいメディアテーク／宮城県／宮城県文化振興財団）。『誰がために』『火垂るの墓』を監督した仙台出身の日向寺太郎氏を講師に迎え、「いのち」をテーマに小学生の参加者たちが作品をつくり、上映しました。
S17009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	山中貞雄監督特集 トーク	1時間13分	この映像は、特撮上映「生涯100年記念 山中貞雄監督特集」（2月6-11日／7階スタジオアターにて）の関連イベントとして2月7日に行われたトークの記録です。戦前の日本映画界に彗星のごとく現れつつも、現在では『丹下左膳 話 百萬両の壺』ほか3作品しか完全なかたちで見ることができない映画作家・山中貞雄。その作品について映画評論家の蓮實重彦氏と映画監督の青山真治氏を迎えお話をうかがいました。（制作年度：2017年）
S17010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	日常生活の編集術1 「思い出とネットとビジネス」	1時間27分	この映像は、2009年7月31日・8月1日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 日常生活の編集術」のトークの記録です。もの・紙・インターネットといったメディアに関わらず、個性的な収集活動と情報発信を行っているゲストを招くシリーズで、この回では、昭和期のグッズなどを扱うオンラインショップ「昭和レトロ倶楽部」を運営する岩崎豪人氏にお話を伺いました。コーディネーター：桂英史（文化理論）
S17011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	日常生活の編集術2 「ミニコミ・フリーペーパー “紙” “だから表現できること”」	1時間22分	この映像は、2009年7月31日・8月1日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 日常生活の編集術」のトークの記録です。もの・紙・インターネットといったメディアに関わらず、個性的な収集活動と情報発信を行っているゲストを招くシリーズで、この回では、自らミニコミ誌などを発行もする編集者・ライターの南陀楼綾繁氏にお話を伺いました。コーディネーター：桂英史（文化理論）。（制作年度：

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	日常生活の編集術3 「面白いのは、結局web1.0だった」	1時間25分	この映像は、2009年7月31日・8月1日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 日常生活の編集術」のトークの記録です。もの・紙・インターネットといったメディアに関わらず、個性的な収集活動と情報発信を行っているゲストを招くシリーズで、この回では、団地や工場など都市の風景を独自の視点で紹介している大山顕氏にお話を伺いました。コーディネーター：桂英史（文化理論）
S17013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「日常生活の編集術」まとめセッション	3時間00分	この映像は、2009年7月31日・8月1日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 日常生活の編集術」のまとめとなるセッションの記録です。もの・紙・インターネットといったメディアに関わらず、個性的な収集活動と情報発信を行っているゲストが集まり、今日における個人の情報発信の在り方について語り合いました。コーディネーター：桂英史（文化理論）
S17014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	《場》としてのミュージアムの可能性1 「幽霊が宿る場-非建築的視点から」	1時間9分	この映像は、2009年10月24・25日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 《場》としてのミュージアムの可能性」の記録です。表現の方法や場が多様化する今日にミュージアムが向かうべきはどこか、横断的な活躍をしているゲストを招くシリーズで、この回では、「非建築家」や「パーティイスト」などさまざまな肩書を持つヴィヴィアン佐藤氏を迎えてお話をうかがいました。コーディネーター：小崎哲哉（編集者）
S17015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	《場》としてのミュージアムの可能性2 「散歩目線で勝手にとらえる場」	1時間9分	この映像は、2009年10月24・25日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー 《場》としてのミュージアムの可能性」の記録です。表現の方法や場が多様化する今日にミュージアムが向かうべきはどこか、横断的な活躍をしているゲストが集まり、パフォーマンス集団「鉄割アルバトロケット」の戌井昭人氏を迎えてお話をうかがいました。コーディネーター：小崎哲哉（編集者）（制作年度：2017年）
S17016	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	8ミリフィルム救助隊 ／8ミリフィルム上映座談会	0時間20分	この映像は、2009年8-12月に行われた「スタジオ・ラボ 8ミリフィルム救助隊」と、その成果発表となる上映座談会の記録です。この取り組みは、1960-70年代に一般家庭に普及していた8ミリフィルムを収集・デジタル化、そして上映しながら、「まちの記憶」を共有しようとするものです。（平成21年度文化芸術による創造のまち支援事業 主催：文化庁／地域映
S17017	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	8ミリフィルム上映座談会 花壇大手町老人憩いの家	0時間31分	この映像は、2009年11月11日に仙台市青葉区の花壇大手町老人憩いの家で行われた上映座談会の記録です。「スタジオ・ラボ 8ミリフィルム救助隊」の成果として実施されたこの会は、家庭に眠る8ミリフィルムの収集・デジタル化と上映により地域のさまざまな世代の方と「まちの記憶」を共有することをねらいとしました。（平成21年度文化芸術による創造のまち支援事業 主催：文化庁、地域映像収集実行
S17018	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	8ミリフィルム上映座談会 八幡杜の館	1時間14分	この映像は、2009年11月22日に仙台市青葉区八幡杜の館で行われた上映座談会の記録です。「スタジオ・ラボ 8ミリフィルム救助隊」の成果として実施されたこの会は、家庭に眠る8ミリフィルムの収集・デジタル化と上映により地域のさまざまな世代の方と「まちの記憶」を共有することをねらいとしました。（平成21年度文化芸術による創造のまち支援事業 主催：文化庁、地域映像収集実行委員会）（制作年度：2017年）
S17019	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	どんどこ！巨大紙相撲-仙台場所	1時間59分	この映像は、2009年5月3-5日に1階オーフンスクエアで行われた「どんどこ！巨大紙相撲-仙台場所」の記録です。アーティストのKOSUGE1-16が考案した、ダンボールでつくった等身大の力士を土俵の上で戦わせる巨大紙相撲は、部屋ののぼりや化粧まわしも手作りで作りました。（制作年度：2017年）

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17020	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいメディアテーク2009年度（平成21年度）事業総集編	1時間2分	この映像は、2009年度のせんだいメディアテーク主催事業をまとめたものです。この年度は、展覧会「青葉縁日3」や仙台芸術遊泳2009の各種企画のほか、創造の《場》としての7階スタジオの活性化に取り組んだ2年目として、レクチャーやワークショップが多数行われました。（制作年度：2017年）
S17021	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青少年のための生きる技術としてのゲージツ学校	2時間17分	この映像は、2016年6月4日から8月7日に開催された「青少年のための生きる技術としてのゲージツ学校」の記録です。この催しは、仙台の高校生を中心とした若年層にむけて、わたしたちにとって芸術とは一体何なのかを実践と対話をとおして考えていくものです。館長の鷺田清一のほか、美術家の森村泰昌、タノタイガが講師を務めました。（制作年度：2016年）
S17022	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	畠山直哉 写真展 まっぷたつの風景（展示風景）	0時間13分	この映像は、2016年11月3日から2017年1月8日にせんだいメディアテーク6回ギャラリーで開催された「畠山直哉写真展 まっぷたつの風景」の展示風景を記録したものです。陸前高田市出身の写真家・畠山直哉氏が取り組む「風景」に着目し、初期から現在までの作品群と対話の場を通じて、「風景」が持つ二面性や両義性、畠山氏の表現と現在の社会との関係性を探
S17023	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	まっぷたつの風景対談1「言葉のリアル／イメージのリアル」	2時間24分	この映像は、2016年11月3日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで開催された「畠山直哉写真展 まっぷたつの風景」の関連対談1を記録したものです。詩人の佐々木幹郎氏の「表現者の表現方法が3・11以後、一日にして変わることはありません。重要なのはそれ以前に、無意識であれ意識的であれ、本能に沿ってやられていたことが鮮明に見えてくると言うことです」という言葉から、東日本大震災後、被災地をめぐる詩人の佐々木氏と畠山直哉氏が「写真行為」をテーマに語り合いまし
S17024	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	まっぷたつの風景対談2「人工天国-現在の風景に何を見るのか？」	2時間25分	この映像は、2016年11月23日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された「畠山直哉写真展 まっぷたつの風景」の関連対談2を記録したものです。東北の川や山に囲まれて育った同世代のふたり。散歩を日課とし、定点観測のように風景を見つめるいがらしみきお氏（漫画家）と畠山直哉氏。「現在の風景に何を見るのか」をテーマに語り合いました。
S17025	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	まっぷたつの風景対談3「暗夜光路-写真は何をやるのか？」	2時間31分	この映像は、2016年12月24日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された「畠山直哉写真展 まっぷたつの風景」の関連対談3を記録したものです。3・11をそれぞれの場所で経験した志賀理江子氏（写真家）と畠山直哉氏。震災という暗い夜を過ごし、そこからどのような光を見つけたのか。影と光を扱う「写真」という共通の方法で制作を続けてきたふたりが、「写真は何をやるのか」をテーマに語り
S17026	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話ゆうわ座4「食わず女房」	3時間6分	この映像は2017年3月12日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った、考えるテーブル「民話 ゆうわ座」の記録です。市民協働団体みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームがホストを務め、表立って扱われることが少ないけれど、多くの語り手が語る「食わず女房」をとりあげ、先祖がこの話にどんな思いをこめたのか、来場者との対話を通して考えました。また、民話が描く「異界」

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17027	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「震災と暮らし」展 トーク 残されたものの意味を探る	2時間9分	この映像は、2016年12月24日にせんだいメディアテーク7階スタジオシアターで行われたトーク「残されたものの意味を探る」の記録です。これは「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」と「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が共催した展覧会「震災と暮らし-震災遺産と人々の記録からふりかえる-」（12月20-25日／1階オープンスクエアにて）の関連イベントで、福島県立博物館とメディアテークの震災に関するプロジェクトの紹介や、故郷や亡き人を偲ぶための写真や記録の関係について、講
S17028	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	探していたものは、前からずっとここにあったのではないか	2時間9分	この映像は、2017年1月22日にオープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える 6 探していたものは、前からずっとここにあったのではないか。」の記録です。宇野重規氏（政治学者）による自身の活動紹介、さらに鷺田清一館長との対話を通じて、現代におけるデモクラシーの在り方について、ともに考えました。（制作年度：2017年）
S17029	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊具郡丸森町の佐藤秀夫の語り [1]	1時間37分 1時間54分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊具郡丸森町の佐藤秀夫さんの語りを島津信子・みやぎ民話の会を聞き手としてまとめたものです。
S17030	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊具郡丸森町の佐藤秀夫・松崎せつ子の語り [1]	1時間56分 1時間44分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊具郡丸森町の佐藤秀夫さん・松崎せつ子さんの語りを島津信子・みやぎ民話の会を聞き手としてまとめたものです。（制作年度：2017年）
S17031	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊具郡丸森町の佐藤秀夫・松崎せつ子の語り [2]	1時間59分 1時間57分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊具郡丸森町の佐藤秀夫さん・松崎せつ子さんの語りを島津信子・みやぎ民話の会を聞き手としてまとめたものです。（制作年度：2017年）
S17032	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊具郡丸森町の佐藤秀夫・松崎せつ子の語り [3]	2時間1分 1時間11分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊具郡丸森町の佐藤秀夫さん・松崎せつ子さんの語りを島津信子・みやぎ民話の会を聞き手としてまとめたものです。（制作年度：2017年）
S17033	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV（2015年度）	1時間16分	「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作しました。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本タイトルは、2015年度につくられた番組を収録しています。
S17034	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか（展示風景ほか）	1時間8分	この映像は、開館10周年記念事業として2010年10月23日-12月26日（一部は9月18日より開始）に6階ギャラリーほか全館を使い行われた展覧会「いま、バリアとはなにか」の手に風景を記録したものです。
S17035	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか アーティスト・トーク	1時間58分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日-12月26日／6階ギャラリーほか）の関連企画として10月23日に行われたトークセッションを記録したものです。出展作家の小山田徹氏と藤井光氏が、これまでの活動を紹介しながら「バリア」について考えました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17036	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか トークセッション 「洞窟の話」	2時間1分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日－12月26日／6階ギャラリーほか）の関連企画として10月23日に行われたトークセッションを記録したものです。出展作家の小山田徹氏と、洞窟にまつわる著書や作品を発表している写真家・評論家の港千尋氏がその魅力について考えました。
S17037	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか トークセッション 「バリア／歴史と地誌の地平から」	1時間47分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日－12月26日／6階ギャラリーほか）の関連企画として12月11日に行われたワークショップを記録したものです。出展作家の小山田徹氏と社会学者の山田創平氏が仙台の土地について歴史と地誌の視線で眺め、太古の昔から現在までの人々の動きを検証しました。
S17038	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか 音読式ワークショップ（1）「大衆の反撃」	1時間36分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日－12月26日／6階ギャラリーほか）の関連企画として11月23日に行われたトークセッションを記録したものです。オルテガ・イ・ガセット著「大衆の反逆」（ちくま学芸文庫）を音読しながらその様子を記録する、読書会と映像撮影を組み合わせた体験をしました。
S17039	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか 音読式ワークショップ（2）「道徳感情論」	1時間29分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日－12月26日／6階ギャラリーほか）の関連企画として12月5日に行われたワークショップを記録したものです。アダム・スミス著「道徳感情論」（岩波文庫）を音読しながらその様子を記録する、読書会と映像撮影を組み合わせた体験をしました。
S17040	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	いま、バリアとはなにか 葉プロジェクト最終報告会	1時間3分	この映像は、開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」（2010年10月23日－12月26日／6階ギャラリーほか）で10月中旬から12月26日まで3階市民図書館と7階スタジオで行われた「葉プロジェクト」を終えて、作家の港千尋氏と本展企画協力者の桂英史氏の対談を記録したものです。本と読者の間を取り持つ記憶のメディアでもある「葉」（しおり）を使って、読書の身体性や図書館について考えるプロジェクトを振り返りました。
S17041	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コミュニケーションの未来へ（1） 「伝わらないこと」のおもしろさ	2時間54分	この映像は、開館10周年事業として2010年10月24日にメディアテーク1階オープンスクエアで行われたトークセッションを記録したものです。「せんだいメディアテークの10年」をテーマに、東京芸術大学教授でメディアテーク建設時のプロジェクトチームだった桂英史氏と当館企画・活動室長の甲斐賢治による対談の後、弁護士の田門浩氏、詩人の田原（ティアン・ユアン）志、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授の西川勝氏をゲストに迎え、現代に生きる私たちが抱えるコミュニケーションの課題を考えました。
S17042	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コミュニケーションの未来へ（2） 「表現すること」のもどかしさ	2時間48分	この映像は、開館10周年事業として2010年11月21日にメディアテーク1階オープンスクエアで行われたトークセッションを記録したものです。さまざまな分野で活動するクリエイターのいとうせいこう氏、メディアジャーナリストの津田大介氏、モデレーターには東京芸術大学准教授で社会学者の毛利嘉孝氏を迎え、情報の発信・表現しているそれぞれの経験をもとに、私たちとメディアの関わり方を考えました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17043	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コミュニケーションの未来へ（3） 集団のカーコミュニケーションから生まれる創造性	2時間28分	この映像は、開館10周年事業として2010年12月19日にメディアテーク1階オープンスクエアで行われたトークセッションを記録したものです。NGBK（ノイエ・ゲゼシャフト・フュア・ブルデンデ・クンスト）ディレクターのジェオニー・バウマン氏、映画監督で東京造形大学学長の諏訪敦彦氏、特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク常務理事の寺本弘伸氏、財団法人知的財産研究所特別研究員の八田真行氏、そして、コメンテーターに、ブロードキャスターのピーター・バカラン氏を迎え、集団で活動する意味「集団的創造性」をテーマに考えました。 進行：甲斐賢治（せんだいメディアテーク企画・活動支援室長）
S17044	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことばをこえて一映像の力 「島の色静かな声」アフタートーク	0時間40分	この映像は、開館10周年事業「ことばをこえて一映像の力」の第1部（2010年10月23日－10月26日／メディアテーク7階スタジオシアター）の一環として、10月23日の「島の色 静かな声」（監督：茂木綾子／2008年）の上映に行われたトークを記録したものです。
S17045	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことばをこえて一映像の力 「17歳の風景一少年は何を見たのか」アフタートーク	0時間57分	この映像は、開館10周年事業「ことばをこえて一映像の力」の第2部（2010年11月20日－11月23日）で11月23日の「17歳の風景一少年は何を見たのか」（監督：若松孝二／2005年）上映後におこなわれたトークを記録したものです。
S17046	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	バリアフリー上映 「ゴールデンスランバー」舞台挨拶	0時間14分	この映像は、上映会「スクリーンに描かれた街 仙台」（2010年6月5日－6月10日）の一環で、6月5日の「ゴールデンスランバー」（監督：中村善洋／2010年）のバリアフリー上映の際におこなわれた舞台挨拶を記録したものです。仙台を舞台とした同名小説の映画化で話題となった本作のバリアフリー上映にあわせ、舞台挨拶も要約筆記がつけられました。
S17047	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「ア・ルース・ボーイ アフタートーク」	0時間36分	この映像は、「スクリーンに描かれた街 仙台」（2010年6月5日－6月10日）の一環で6月6日の「ア・ルース・ボーイ」（監督：紺野秀昭／1998年）の上映後、原作者の佐伯一麦氏を迎えてのトークを記録したものです。原作もロケ地も仙台という稀有な映画ながら不運にも劇場公開されなかった本作についてお話をうかがいました。
S17048	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スクリーンに描かれた街仙台 「市民の中の映像記録」	1時間25分	この映像は、上映会「スクリーンに描かれた街 仙台」（2010年6月5日－6月10日）の一環で6月9日におこなった上映会の記録です。昭和期の仙台の様子を記録した8ミリフィルムを編集した「市民の中の映像記録」を、映像の提供者でもあり監修の川村信太郎氏、渡邊慎也氏、そして、来場したみなさんと話しながら見ました。
S17049	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「ハリウッドを駆けた怪優 異端の人・上山草人」アフタートーク	0時間40分	この映像は、上映会「スクリーンに描かれた街 仙台」（2010年6月5日－6月10日）の一環で6月10日の「ハリウッドを駆けた怪優 異端の人・上山草人」（監督：諏訪敦彦／1995年）の上映後に行われたトークを記録したものです。テレビ番組として制作され、本作の後に「2／デュオ」で長編映画監督デビューした諏訪敦彦氏、プロデューサーをつとめたKHB東日本放送の加藤昌宏氏を迎えお話をうかがいました。
S17050	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV	1時間1分	「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作しました。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本タイトルは、2010年度につくられた番組を収録しています。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17051	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 在仙の演劇人による オープニング 一宮澤賢治の詩を読む	0時間51分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月3日に行われた朗読劇の様相を記録したものです。仙台を中心に活動する演劇人らが宮沢賢治の詩を朗読しました。
S17052	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 話す（1）	1時間37分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月4日に行われた鷺田清一氏（大阪大学総長、哲学者）の講演を記録したものです。
S17053	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 話す（2）	1時間46分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月5日に行われた伊東豊雄氏（建築家）と小野田泰明氏（東北大学大学院教授）の対談を記録したものです。
S17054	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 話す（3）	1時間26分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月6日に行われた加藤種男氏（財団法人アサヒビール芸術文化財団 事務局長）とタノタイガ氏（美術家）の対談を記録したものです。 聞き手：甲斐賢治（せんだいメディアテーク 企画・活動支援室室長）
S17055	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 話す（4）	1時間23分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月7日に行われた絵本作家のとよたかずひこ氏の講演を記録したものです。
S17056	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	歩き出すために 話す（5） みやぎ 音楽支援ネットワーク とともに語る 「今、音楽にできる こと」	0時間56分	この映像は、2011年3月11日の東日本大震災による休館を経て、一部再開後最初の事業「歩き出すために」（2011年5月3日～5月8日／1階オープンスクエア）の一環として、5月8日に行われたトークセッションの記録です。宮城県内で活動する主に音楽関係のプロデューサーらによる「みやぎ音楽支援ネットワーク」の高橋Q氏のコーディネートにより、桜井絵美氏（仙台ゴスペルフェスティバル事務局長）、佐々木和夫（定禅寺ストリートジャズフェスティバル前実行委員長）、猪狩太志氏（とっておきの音楽祭副委員長）が登壇しました。
S17057	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「東日本大震災東北 朝鮮学校の記録 Part. 2」 アフタートーク	0時間41分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日～3月12日）の一環として、3月9日に行われた「東日本大震災東北朝鮮学校の記録 part. 2」上映後、制作者のコムプレス（朴思柔[パク・サユ]氏／朴敦史[パク・トンサ]氏と東北朝鮮学校長の尹鐘哲（ユン・ジョン Chol）氏のトークを記録したものです。
S17058	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11 にちをわすれない ために 報告会 そこで 出会ったことば	1時間23分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日～3月12日）の一環として、3月10日に7階スタジオbで行われた映像作家の小森はるか氏と画家で作家の瀬尾夏美氏による活動報告を記録したものです。両氏が被災各地を巡って記録してきた人々の会話や景色について語りました。
S17059	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11 にちをわすれない ために 「どうか記憶よ離 れないで」「測量技 師たち」 アフタートーク	0時間51分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日～3月12日）の一環として、3月11日の「どうか記憶よ離れないで」（監督：高野裕之）、「測量技師たち」（監督：志子田勇）の上映に続き行われた、両氏によるトークを記録したものです。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17060	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11にちをわすれないために「なみのこえβ」アフタートーク	0時間57分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日-3月12日）の一環として、3月11日の「なみのこえβ」（監督：濱口竜介／酒井耕）の上映後に行われた両氏によるトークを記録したものです。
S17061	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11にちをわすれないために「動物たちの大震災」アフタートーク	0時間44分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日-3月12日）の一環として、3月12日の「動物たちの大震災」（監督：宍戸大裕）の上映後に行われたトークを記録したものです。
S17062	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11にちをわすれないために 定点観測 3・11を撮りつづける会	1時間24分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日-3月12日）の一環として、3月11日に1階オープンスクエアで行われたトークセッション「定点観測3.11をとり続ける会」の様態を記録したものです。東日本大震災の写真記録集「3.11キラクのキルク」編者の佐藤正実氏の司会により、写真を提供された5名が当時の様子をお話しされました。
S17063	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	星と路-3がつ11にちをわすれないために 仙台平野を襲った災害の史実に学び、伝える。	0時間56分	この映像は、「星空と路-3がつ11にちをわすれないために」（2012年3月6日-3月12日）の一環として、3月10日に1階オープンスクエアで行われたトークの記録です。仙台市教育委員会文化財課の木村浩二氏が、過去の地震の津波跡から東日本大震災について語りました。
S17064	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV	0時間56分	「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作しました。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本タイトルは、2011年度につくられた番組を収録しています。
S17065	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	見過ごしてきたもの	0時間11分	この映像は、2013年2月25日-3月4日に開催された「見過ごしてきたもの」展の展示風景を記録したものです。この展示会は、公募により集まった市民が展示会の制作を学び、実現までを行う「コール&レスポンスプロジェクト」のひとつとして行われました。出展作家：臼井良平、加藤泉、毛利悠子、坂口恭平、L PACK
S17066	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	モバイルハウス&0円	0時間21分	この映像は、2013年2月10日に東北文化学園大学を会場に実施したワークショップの記録です。コール&レスポンスプロジェクト「見過ごしてきたもの」展の一環として、“建てない”建築家・坂口恭平氏が考案した「モバイルハウス」と、路上生活者の観察から生まれた「0円ハウス」を実際につくってみました。
S17067	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	どこコレ？-おしえてください昭和のセンダイ（展示風景）	0時間2分	この映像は、2013年1月19日-3月3日に7階スタジオで開催した「どこコレ？-おしえてください昭和のセンダイ」を紹介するものです。仙台のどこかではあるけれども詳細がわからない古い写真や映像を展示し、鑑賞者の情報をもとに場所や年代を特定していく手法「どこコレ？」をはじめて実施するにあたりつくられました。
S17068	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	講義「どうやって本を	1時間34分	この映像は、2012年7月から12月にかけてメディアテーク7階スタジオbなどで行われた「ちいさな出版がっこう」での講義「どうやって本を作り続けるか」（8月19日）の記録です。アーティスト／グラフィックデザイナーの立花文穂氏を迎え、がっこう長の南陀楼綾繁氏（編集者／ライター）が聞き手となり、話をうかがいました。共催：Book!Book!Sendai



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17069	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	講義「どうやって本を	1時間29分	この映像は、2012年7月から12月にかけてメディアテーク7階スタジオbなどで行われた「ちいさな出版がっこう」での講義「どうやって本を作り続けるか」（8月19日）の記録です。ミシマ社代表の三島邦弘氏を迎え、主任講師の南陀楼綾繁氏（編集者／ライター）が聞き手となり、話をうかがいました。共催：Book!Book!Sendai
S17070	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	講義「読者にどのよう	0時間54分	この映像は、2012年7月から12月にかけてメディアテーク7階スタジオbなどで行われた「ちいさな出版がっこう」での講義「読者にどのように手渡すか」（9月30日／7階スタジオb）の記録です。岩手でミニコミ誌『てくり』を発行する木村敦子氏を迎え、主任講師の南陀楼綾繁氏（編集者／ライター）が聞き手となり、話をうかがいました。共催：Book!Book!Sendai
S17071	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「新しい才能に出会う	0時間49分	この映像は、2012年9月18-20日に7階スタジオシアターなどで行われた「ショートピース！仙台短篇映画祭2004」のプログラム「新しい才能に出会う」（9月16日）の記録です。作品が上映された、新井哲氏（『ひびり』）、星崎久美子氏（『さめざめ』）、中村友也氏（『Scribble』）、古新舜氏（『えんがわ』）、そして、コメンテーターに映画監督の沖田修一氏と守屋文雄氏を迎えました。共催：仙台短篇映画祭実行委員会
S17072	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線『ドキュメンタリープロジェクトFUKUSHIMA!』アフタートーク	0時間33分	この映像は、2012年7月23日に7階スタジオシアターで行われた「映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線」、第1回上映『ドキュメンタリー プロジェクトFUKUSHIMA!』の際に行われたトークの記録です。音楽家でプロジェクトFUKUSHIMA!発起人の大友良英氏を迎えました。企画：幕の人
S17073	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線『サウダーヂ』アフタートーク	0時間42分	この映像は、2012年10月8日に7階スタジオシアターで行われた「映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線」、第2回上映『サウダーヂ』の際に行われたトークの記録です。同作の脚本を手がけた相澤虎之助氏を迎えました。聞き手：菅原睦子（幕の人） 企画：幕の人
S17074	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線『親密さ』アフタートーク	0時間42分	この映像は、2012年12月23日に7階スタジオシアターで開催された「映画＝ノイズに満ちた世界を注視するための補助線」、第3回上映『親密さ』の際に行われたトークの記録です。同作監督の濱口竜介氏を迎えました。聞き手：森忠治（舞台芸術プロデューサー） 企画：幕の人
S17075	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ことりTV	1時間00分	「ことりTV」とは、市民ディレクターが企画、撮影、編集してつくるテレビ番組。2010年からせんだいメディアテークとケーブルテレビ仙台CATV（キャット・ヴィ）が共同で企画・制作し、スタジオのカメラや編集環境を使いながら、さまざまな人が市民ディレクターとして地域の出来事や人の取材をしたり、作品を制作しました。番組は仙台CATVで放送されるほか、インターネットでも配信。本タイトルは、2016年度につくられた番組を収録しています。
S17076	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	うみやまさんぽ Walking the Solstice	0時間22分	「古代の海の民にとって太陽と遺跡と山の配置に意味があったのではないか」 小さな島の縄文遺跡を訪れた地域研究者が描いた海洋民族の仮説。Print Area、というものだった。仮説に夢を抱いた土地の自然を守り活動する人、島に生きる住民、遠くから女川を思う美術家などが集まり、夏の島や冬の山で日没や日の出の一瞬を共に待った。 地形に残されたはるか太古の記憶や震災で失われた記憶と、それぞれの「その場所」への想いを重ねながら、人間と自然との関わりの先に未来を切り拓く取組み「うみやまさんぽ」の3年間を描く。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S17077	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	みんなで作っぺ！ 仮説で「たこ焼きパーティー」	0時間11分	2015年2月28日、宮城県名取市の美田園第一仮設住宅の集会場で「たこ焼きパーティー」がおこなわれました。主催は「みやぎ生協仙南ボランティアセンター」の有志と地元の市民団体「方言を語り残そう会」。 たこ焼き作りに必要な道具一式は、神戸からのプレゼント。たこ焼き作りの初心者も経験者も、たこ焼き器を囲んでワイワイガヤガヤ。みんなで作って食べるたこ焼きの味は最高！ 仮設住宅の集会場に地元の方言と笑い声が響き渡りました。
S17078	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	5年後の飯館村調査	0時間30分	東京電力福島第一原子力発電所事故から5年経った2016年3月26日、飯館村において放射能汚染調査をした際の風景です。今中哲二助教（京都大学原子炉実験所）を中心として、2011年3月より毎年調査しています。
S17079	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	小国春熊獵2016	2時間4分	山形県小国町における春熊獵の記録
S17080	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	さぐば	2時間00分	かつて「さぐば」と呼ばれる木造小舟があり、海、浦、川の作業場として使われていたことを、閑上の方にお話を聞く中で知りました。その復元のため歌津の岩石孝喜棟梁に会いました。大型の復興土木事業と並行して行われていた、舟を手で作ることの記録です
S17081	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	広域避難者の今を考える	0時間42分	東日本大震災により北海道内に避難されている方々に向けた支援事業を受託している「一般社団法人北海道広域避難アシスト協会」代表理事の佐藤伸博さんに、その活動や避難者の状況や抱える課題などについてお伺いしました。
S17082	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仮説で仮装カラオケ大会 「みんなで歌うっぺ！」	0時間15分	宮城県名取市の美田園第一仮設住宅で、仮装カラオケ大会がありました。地元の方言とみんなの笑い声が、仮設住宅の集会所に集まった人々を優しくつつみます。
S17083	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	石と人	0時間19分	津波により家屋全てがなくなった陸前高田市森の前地区。そこに残された五本松の巨石は、その土地に暮らしてきた人びとのよりどころであった。この映像は、巨石を中心としたその地域の伝統の復活と、新たな伝承のはじまりを志す佐藤徳政さんの活動記録です。
S17084	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	岩沼災害ボランティアセンター スタッフインタビュー	0時間31分	2011年9月、わたしたちは1カ月間東北を移動滞在しながら、福島・宮城・岩手・青森の沿岸市町村の災害ボランティアセンターを一つずつ訪ね、運営スタッフの方のお話を伺った。その一片を編集したインタビュー映像。
S17085	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	石巻災害ボランティアセンター スタッフインタビュー	0時間35分	2011年9月、わたしたちは1カ月間東北を移動滞在しながら、福島・宮城・岩手・青森の沿岸市町村の災害ボランティアセンターを一つずつ訪ね、運営スタッフの方のお話を伺った。その一片を編集したインタビュー映像。
S17086	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	女川災害ボランティアセンター スタッフインタビュー	0時間37分	2011年9月、わたしたちは1カ月間東北を移動滞在しながら、福島・宮城・岩手・青森の沿岸市町村の災害ボランティアセンターを一つずつ訪ね、運営スタッフの方のお話を伺った。その一片を編集したインタビュー映像。
S17087	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中屋敷	0時間21分	津波の被害を受け、まだ泥かきが住んでいないご自宅で、震災当日や家族のこと、お互いに協力し合い家屋清掃をすることなどについて、お話を伺いました。撮影した2011年5月、庭では津波に耐えた柿の木が芽吹きはじめていました。
S17088	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	車載映像2013. 6. 25 七郷一荒井一蒲生干潟	0時間46分	七郷を出発して荒井を通過し、県道10号線から七北田川沿いの139号線に入り、蒲生の海岸付近までを撮影した2013年の記録です。津波被害を受けた家や住宅基礎、中野小学校跡地など、町の痕跡が映像に残っています。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S18001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・レクチャー（2009年度） なんのための仕事？ 「F/styleの場合」	2時間11分	この映像は、2010年3月20・21日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー なんのための仕事？」の記録です。デザインの仕事、あるいは、働くことそのものについて、プランニング・ディレクターでLiving World主宰の西村佳哲氏のコーディネートで語り合う2日間。この回では、「製造以外で商品が流通するまでに必要なことはすべてやってみることを」をモットーに仕事をするF/styleの五十嵐恵美氏と星野若菜氏を迎えました。
S18002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スタジオ・レクチャー vol.3 「なんのための仕事？」	1時間43分	この映像は、2010年3月20・21日に7階スタジオaで行われた「スタジオ・レクチャー なんのための仕事？」の記録です。デザインの仕事、あるいは、働くことそのものについて、プランニング・ディレクターでLiving World主宰の西村佳哲氏のコーディネートで語り合う2日間。この回では、デザインの会社と学校からなるOPUSの神崎恵美子氏と、情報技術が拓く年と建築について研究している本江正茂氏を迎えました。
S18003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える(7) ちょうどいいサイズって？/自分の、社会の、経済の	1時間52分	この映像は、2017年8月18日にメディアテーク1階オープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える(7) ちょうどいいサイズって？/自分の、社会の、経済の」の記録です。思想家で文筆家の平川克美氏による自身の活動紹介、さらに鷺田清一館長との対話を通じて、競争原理から次の原理へと向かう転換点である日本の現在について、ともに考えました。
S18004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青少年のための生きる技術としてのゲージツ学校 2	0時間27分	この映像は、2017年7月22日から9月24日に開催された「青少年のための生きる技術としてのゲージツ学校」の記録です。この催しは、仙台の高校生など若年層を対象とし、「聴く技術」によって社会との関わりを考えていくものです。今年度は、美術と詩の2つの専攻をひらきました。館長の鷺田清一のほか、美術家のタノタイガ、ラップアーティストのHUNGERが講師を務めました。
S18005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷺田清一とともに考える(8) <持ち場>って？/はたらき、かせぎ、であう	2時間00分	この映像は、2017年10月21日にオープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える(8) <持ち場>って？/はたらき、かせぎ、であう」の記録です。著書の『仕事のなかの曖昧な不安』や、釜石で取り組んできた「希望学」で注目を浴びている経済学者の玄田有史さんによる自身の活動紹介、さらに鷺田清一館長との対話を通じて、持ち場をキーワードに、ともに考えました。
S18006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	亶理郡山元町 庄司アイの語り [1]	1時間26分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、亶理郡山元町在住の庄司アイさんの語りを加藤恵子と小野和子が聞き手としてまとめたものです。
S18007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	亶理郡山元町 庄司アイの語り [2]	1時間51分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、亶理郡山元町在住の庄司アイさんの語りを加藤恵子と小野和子が聞き手としてまとめたものです。
S18008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	亶理郡山元町 庄司アイの語り [3]	1時間46分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、亶理郡山元町在住の庄司アイさんの語りを加藤恵子と小野和子が聞き手としてまとめたものです。
S18009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	亶理郡山元町 庄司アイの語り [4]	1時間28分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、亶理郡山元町在住の庄司アイさんの語りを加藤恵子と小野和子が聞き手としてまとめたものです。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S18010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 加美郡加美町の引地田路子の語り [1]	0時間58分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、加美郡加美町在住の引地田路子さんの語りを小野和子、山田裕子が聞き手としてまとめたものです。
S18011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 加美郡加美町の引地田路子の語り [2]	1時間46分	この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、加美郡加美町在住の引地田路子さんの語りを小野和子、山田裕子が聞き手としてまとめたものです。
S18012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	調査と表明 コンニチハ技術トシテノ美術（展示風景）	0時間13分	この映像は、2017年11月3日から12月24日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された展覧会「コンニチハ技術トシテノ美術」の展示風景を記録したものです。5人の美術家が、震災から7年目を迎えた東北で技術と芸術の関係性を考察し展覧会としてあられました。展示作家：青野文昭、飯山由喜、井上亜美、高嶺格、門馬美喜
S18013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	考えるテーブル 民話ゆうわ座5「民話のなかのキツネたち」	3時間6分	この映像は2018年2月4日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った考えるテーブル「民話 ゆうわ座」の記録です。市民協働団体みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームがホストを務め、多様な姿で語られ、身近な人が体験した「実話」としてもとりあげられる「キツネのはなし」から、現在に通じる思いを来場者との対話を通して考えました。
S18014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	草アーカイブ会議2 コミュニティ・アーカイブってなに？ （1）痕跡とアクチュアリティ～鉱山、通信所、終戦、ホーム～	2時間38分	この映像は2017年12月23日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った草アーカイブ会議2「コミュニティ・アーカイブってなに？」の1日目のプログラム「痕跡とアクチュアリティ～鉱山、通信所、終戦、ホーム～」の記録です。草の根的なアーカイブ活動に取り組んでいる小岩勉（写真家）、坂田太郎（サイト・イン・レジデンス）、瀬尾夏美（画家・作家）、松本篤（NPO remoメンバー・AHA!世話人）による各活動紹介と共に、桂英史（東京芸術大学大学院映像研究科教授）をモデレーターに迎えて、対象となる資料や人との対話をいかにして他者の生きた記憶として立ち現わせることが可能か、そのアクチュアルな状況づくりについて考えました。
S18015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	草アーカイブ会議2 コミュニティ・アーカイブってなに？ （2）土着の魂・旅人の目～カセットテープとインターネット～	3時間21分	この映像は2017年12月24日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで行った草アーカイブ会議2「コミュニティ・アーカイブってなに？」の2日目のプログラム「土着の魂・旅人の目～カセットテープとインターネット～」の記録です。草の根的なアーカイブ活動に取り組んでいる小野和子（民話探訪者）、川瀬慈（国立民族学博物館人類基礎理論研究部准教授）、ヴィンセント・ムーン（映像作家・サウンドアーティスト）による各活動紹介と共に、佐藤智久（京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授）をモデレーターに迎えて、旅人（よそ者）として他者と向き合ううえでの記録を行う態度、聞く姿勢、関係性について考えました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S18016	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台-美術の場と記録 - 極星画廊（1986-1987年）	24分	『仙台 美術の場と記録』は、仙台圏にあった、あるいは現在も続いているギャラリーのオーナーへインタビューを行い、日々変わりゆく街の記録に刻まれたギャラリーの足跡を通じて、仙台の美術の変遷を紐解き、現在のアートシーンへのつながりを探ろうとするものです。「ギャラリー青葉」は、1957年より仙台市青葉区錦町に開廊しました。オーナーは高橋真（たかはし・まこと）氏。現代作家および画廊所有のコレクション展示を企画し、村上義男などの現代版画を中心に幅広く紹介しています。（本資料は、2014年度ミュージアムと地域人材が連携する「育成・交流・ネットワーク形成型」情報基盤づくり事業「ニュー・フィールド・レコーディング」の一環として制作・web公開されたものをパッケージ化したものです。）
S18017	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台-美術の場と記録 - 一年間ギャラリー（1995-1996年）／ギャラリー週刊アート（1996-1998年）／美術カフェ PCNICA（2007-2015年）／artroom Enoma（2008-2015年）	25分	『仙台 美術の場と記録』は、仙台圏にあった、あるいは現在も続いているギャラリーのオーナーへインタビューを行い、日々変わりゆく街の記録に刻まれたギャラリーの足跡を通じて、仙台の美術の変遷を紐解き、現在のアートシーンへのつながりを探ろうとするものです。「一年間ギャラリー」は、1995-1996年、週替わりで展示内容を替えるコンセプトで運営。オーナーは、グラフィックデザイナーで画家の木村良（きむら・りょう）氏。1952年生まれの木村氏は、その後も「ギャラリー週刊アート」（1996-1998）、「美術カフェ PICNICA」（2007-2015）、「artroom Enoma」（2008-2015）を手がけています。（本資料は、2014年度ミュージアムと地域人材が連携する「育成・交流・ネットワーク形成型」情報基盤づくり事業「ニュー・フィールド・レコーディング」の一環として制作・web公開されたものをパッケージ化したものです。）
S18018	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台-美術の場と記録 - 極星画廊（1986-1987年）	46分	『仙台 美術の場と記録』は、仙台圏にあった、あるいは現在も続いているギャラリーのオーナーへインタビューを行い、日々変わりゆく街の記録に刻まれたギャラリーの足跡を通じて、仙台の美術の変遷を紐解き、現在のアートシーンへのつながりを探ろうとするものです。「極星画廊」は、1986-1987年、仙台市青葉区一番町で運営。オーナーは美術家の佐々木正芳（ささき・まさよし）氏で、氏の長女・葉子氏がスタッフとして常駐していました。佐々木正芳氏は1931年横須賀市生まれ。終戦後、両親の故郷・石巻に移住し、依頼仙台に住むようになりました。美術活動の他、個人誌「凍土」（1977-1987年）を発行。2013年には「秋保の杜 佐々木美術館&人形館」を開館・運営していました。
S18019	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	仙台-美術の場と記録 - ギャラリー・スクラップ（1995-1996年）	1時間3分	『仙台 美術の場と記録』は、仙台圏にあった、あるいは現在も続いているギャラリーのオーナーへインタビューを行い、日々変わりゆく街の記録に刻まれたギャラリーの足跡を通じて、仙台の美術の変遷を紐解き、現在のアートシーンへのつながりを探ろうとするものです。「ギャラリー・スクラップ」は、1995-1996年、仙台市青葉区一番町で運営。オーナーは、グラフィックデザイナーで画家の木村良（きむら・りょう）氏。1952年生まれの木村氏は、その後も「ギャラリー週刊アート」（1996-1998）、「美術カフェ PICNICA」（2007-2015）、「artroom Enoma」（2008-2015）を手がけています。（本資料は、2014年度ミュージアムと地域人材が連携する「育成・交流・ネットワーク形成型」情報基盤づくり事業「ニュー・フィールド・レコーディング」の一環として制作・web公開されたものをパッケージ化したものです。）
S18020	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	釜石災害ボランティアセンタースタッフインタビュー	27分	2011年9月、わたしたちは1カ月間東北を移動滞在しながら、福島・宮城・岩手・青森の沿岸市町村の災害ボランティアセンターを一つずつ訪ね、運営スタッフの方のお話を伺った。その一片を編集したインタビュー映像。
S18021	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	根をほぐす	18分	種苗店を営む佐藤貞一さんは、津波で自宅と店舗を失い、その跡地に自力でプレハブを建て営業を再開した。2016年、高台へ店を新設するため、震災後に続けてきた店舗を自らの手で解体していく。2013年から続けていた佐藤さんの記録の一編です。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S18022	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	今日は市バスに乗って、荒浜へ	41分	震災前は市営バスの終点停留所があった仙台市荒浜の深沼海岸。2016年冬、一台の市営バスが5年9ヶ月ぶりに海岸前に到着しました。これからは海辺のまちに人びとが行き交いますように。人も思いも満員に詰め込んだバスが、仙台駅から終点へと向かう道のりの記録映像です。
S18023	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	互益松鹿樂+超絶祭2017-1次会「互行乃儀」	18分	2017年5月、子供の日に想いを寄せて…。嵩上げが進む陸前高田、創造の聖地である巨石「五本松」をモチーフにした御輿を担いで練り歩く。今しか感じることが出来ない時間を、噛み締めながら「互益松鹿樂」と共に。鯉が昇竜と成り、かけがえのない空間の演出映像です。
S18024	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	新しい庭	30分	震災による地滑り被害で多くの住民が去った仙台市青葉区中山。たくさんの思い出の残る地に住み続けたいと自宅の再建を決意した記録者は、仙台では一般住宅に適用されたことのないアンダーピニング工法を用います。2011年の震災発生直後から2015年まで、自宅の再建工事と、その後の庭の再建工事の様子までを記
S18025	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	anatta	69分	あの震災後に亘理第三集会場で出会った人々がいました。いつの間にか心引かれて、撮影し続けた記録があります。なんのためでもなく、どうしたらいいのか分かっているわけでもなく、聞こえてくる鳥の声に耳を澄ませるようにして集めた幾つかの映像の断片です。
S18026	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	バンテジーから3.11後の東北へ	54分	インド仏教の最高指導者、佐々井秀嶺上人のことをナグプールの人々はバンテジーと呼ぶ。2017年3月11日の満月の夜、震災から二ヶ月後の日本を訪れた際の話と、東北の地に向けてのメッセージをバンテジーに聞きました。
S18027	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	小さな藍祭り	22分	3.11後の農を模索する中で、藍作り、道具作り、場所作りなど活動の広がりを持ち始めた歎藍社が、「道具の発見」と「協同作業」がテーマの夏祭りを開催しました。大玉村で生まれたゴロゴロ染めやファッションショーなど、一緒に藍を育てたくなる記録です。
S18028	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	脱住宅／これからもずっとこのまちに住みたいですか？	2時間1分	この映像は、2018年9月22日にオープンスクエアで行われた「鷺田清一とともに考える（9）脱住宅／これからもずっとこのまちに住みたいですか？」の記録です。山本理顕氏（建築家）による自身の活動紹介、さらに、鷺田清一館長との対話を通じて、現代におけるコミュニティのあり家について、ともに考えました。
S19001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	スズキヘキのカタカナシ 聴いて唄って語る会	2時間44分	この映像は、せんだいメディアテークのプロジェクト「アートノード」の一環として開催したイベント「The playmakers SENDAI」の記録です。アーティストユニットKOSUGE1-16は、仙台の詩人スズキヘキと郷土研究家の天江富弥が中心となり展開した大正時代の児童文化運動に触発され、独自の解釈で現代に当時の活動を呼び起こす企画を展開してきました。この映像は、スズキヘキの創作の原風景に迫ることを企図して行われた勉強会の記録です。
S19002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	大崎市鳴子鬼首の大場重代の語り [1]	2時間40分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声、映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、大崎市鳴子温泉鬼首在住の大場重代さんの語りを、山田裕子、長須賀直子、小田嶋利江が聞き手としてまとめたものです。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S19003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	大崎市鳴子鬼首の大場重代の語り [2]	3時間39分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、大崎市鳴子温泉鬼首在住の大場重代さんの語りを、山田裕子、長須賀直子、小田嶋利江が聞き手としてまとめたものです。
S19004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊藤正子・佐々木健の語り [1]	1時間56分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊藤正子さんと佐々木健さんによる民話の語りを小野和子が聞き手としてまとめたものです。
S19005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊藤正子・佐々木健の語り [2]	1時間46分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、伊藤正子さんと佐々木健さんによる民話の語りを小野和子が聞き手としてまとめたものです。
S19006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話ゆうわ座6「民話のなかのじじとばば～一粒の豆をめぐる～」	2時間49分	この映像は、2018年12月22日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで、市民協働団体のみやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチームがホストを務め実施した「民話ゆうわ座」の記録です。今回は「むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがありました」と始まる民話のなかでも、採訪の際に数多く聞いた「一粒の豆」をめぐる民話に着目し、先祖が繰り返す昔ばなしの冒頭に置いてきた老夫婦について、参加者との対話を通して考えました。
S19007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	転機はじぶんで作る／元ママさん記者の青空相談	2時間10分	この映像は、2018年12月23日にオープンスクエアで行われた「鷲田清一とともに考える10 転機はじぶんで作る/元ママさん記者の青空相談室。」の記録です。小国綾子氏（新聞記者）による自身の活動紹介、さらに鷲田清一館長との対話を通じて、人生の「転機」について、ともに考えました。
S19008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	This is Sendai	0時間31分	『This is Sendai』は、仙台市が姉妹都市リバサイド市（アメリカ）へ提供するために1963年（昭和38年）に制作した広報映画です。本市の文化や自然を紹介するほか、1962年に仙台を訪れたリバサイド市代表団との交流を記録した本資料は、長らく仙台市民の目に触れることはありませんでしたが、2016年に「としよかん・メディアテーク・フェスティバル」で上映しました。
S19009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Memory in Sendai	0時間17分	『Memory in Sendai』は、1970年5月、姉妹都市リバサイド市（アメリカ）からベン・ルイス市長ら代表団が仙台を訪問した際の記録です。全篇英語で作られているため、『This is Sendai』（1963年）と同様に、リバサイド市へ提供するためにつくられたものと思われます。市街での歓迎パレードや市議会への表敬から、青葉城趾や博物館、塩竈・松島へも足をのびた様子が撮影されています。長らく仙台市民の目に触れることはありませんでしたが、2018年に「映像の仙台史」で上映しました。
S19010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ヒロスム 仮設する人	0時間39分	この映画は、2018年11月3日から12月28日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された展示会「ヒロスム 仮設する人」の展示風景と、会場内で行われた展示作家によるパフォーマンスを記録したものです。野外での身体によるパフォーマンスを主軸として2009年から活動を続けているヒロスムの全履歴が、映像、写真、ものによる巨大なアーカイブとしてギャラリーの空間全域に展開しました。展示作家：ヒロスム（加藤至、星野文紀、吉田

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S19011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	アートノード・ミーティング02 KOSUGE1-16と「アッペトツペ」を振り返る	1時間55分	アートノード・ミーティングは、せんだいメディアテークが地域で展開するプロジェクト「アートノード」にまつわるあれこれ公開し、より多くの意見や支店を得て、その意義を皆さんとともに深めていくイベントです。この映像は、2017年2月19日（日）に開催された第2回の映像です。アートノードが2016年に展開したプロジェクト「アッペトツペ＝オガル・カタカナシ記念公園」（企画制作：KOSUGE1-16）を軸に、4月からの流れを振り返ります。
S19012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	千年のしらべ「瑞巖寺・埋木書院一日鑑賞会」	1時間42分	この映像は、2018年8月26日（日）に開催したイベント「千年のしらべ 瑞巖寺・埋木書院一日観賞会」の記録です。約10年に及ぶ修復工事を終え、2018年に落慶法要を行った瑞巖寺。これを記念し、埋木書院の見学会と建物の由来と材料の特徴についてのトークと、伊達伸明氏が制作した埋木製弦楽器の演奏会を行いました。
S19013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ドートクのじかん 1 じかんめ「親切」	2時間2分	この映像は、2019年6月29日にオープンスクエアで行われた「鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 1時間目《親切》」の記録です。藤原辰史氏（農業史研究者）による自身の活動紹介、さらに鷲田清一館長との対話を通じて、「親切」についてともに考えました。
S19014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	立ち上がりの技術 vol.01「語り野をゆけば」3人の語り手のインタビュー	50分	この映像は、2018年1月12日-2月12日に東北リサーチとアートセンター（TRAC）の事業として開催した展覧会「立ち上がりの技術vol.01『語り野をゆけば』」に展示された、3人の語り手へのインタビューを収録しています。「語り野をゆけば」は、戦争・震災・民話という3つの出来事・物語の語り手となった3人の現在の語りの記録と、それぞれが歩んできた道のりの展示です。
S19015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	立ち上がりの技術 vol.01「語り野をゆけば」語り手さん大集合！	1時間36分	この映像は、2018年1月13日に東北リサーチとアートセンター（TRAC）の事業として開催した展覧会「立ち上がりの技術vol.01『語り野をゆけば』」の関連イベント「語り手さん大集合！」の記録です。「語り野をゆけば」は、戦争・震災・民話という3つの出来事・物語の語り手となった3人の現在の語りの記録と、それぞれが歩んできた道のりの展示です。
S20001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 2 じかんめ「正直」	133分	この映像は、2019年8月17日にオープンスクエアで行われた「鷲田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 2時間目《正直》」の記録です。大西麻貴氏・百田有希氏（建築家／o+h主宰）による自身の活動紹介、さらに鷲田清一館長との対話を通じて、「正直」について、ともに考えました。



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 塩竈市浦戸諸島寒風沢の土見壽郎さんの語り（1）	208分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声、映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、塩釜市在住の土見壽郎さんの語りを、山田裕子を聞き手をして、長須賀直子、山田和郎の協力を得てまとめたものです。（1）十五の歳から鋤頭（8分）（2）天水が頼りの島の米づくり（3分）（3）干潮を待って田の水を排水する（3分）（4）チリ地震津波のあとに米俵で堤防をつくる（13分）（5）チリ地震津波のあとすぐに米をつくる（10分）（6）島ならではの土づくりの難しさ（7分）（7）夫婦で船を漕いで、田に通う（6分）（8）津波に三度遭う（5分）（9）津波に乗って寒風沢水道を抜けた漁師さん（10分）（10）今回の津波は生活の全てを変えた（4分）（11）津波の年にも準備していた稲の苗（11分）（12）民謡をうたうことに支えられる（12分）（13）タヌキに化かされた九ノ吉（7分）（14）ムジナに化かされたおっ母（9分）（15）キツネに化かされたタヌキ（11分）（16）ウイスキーを飲んで酔っ払ったタヌキ（14分）（17）戦争中に船入島にウサギを放す（5分）（18）海坊主と子ども（16分）（19）木田の大ダコと潜りの新吉（8分）（20）潜りの名人の条件（7分）（21）陰田
S20003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話 声の図書室 塩竈市浦戸諸島寒風沢の土見壽郎さんの語り（2）	162分	この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声、映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、塩釜市在住の土見壽郎さんの語りを、山田裕子を聞き手として、長須賀直子、山田和郎の協力を得てまとめたものです。（1）「塩竈甚句」をうたう、民謡と民話（10分）（2）民謡はわたしの生きがい（7分）（3）ワカメ採り、種ガキ、海苔養殖の仕事をする（11分）（4）戦後、島の「結い」が薄れる（5分）（5）津波後の島の暮らし（7分）（6）海と暮らしてきた島で海が見えない（9分）（7）古下駄のお化け、焼き供養（12分）（8）慶長津波で集落が元屋敷から移る（8分）（9）寒風沢は伊達藩の米の積み出し港（5分）（10）縛り地蔵（7分）（11）幕軍と官軍が寒風に寄稿する（6分）（12）寒風沢の港が塩竈の港にとって代わられる（9分）（13）今も夢に見る島の田仕事と海の仕事（6分）（14）島を訪れる小学生に島の民謡を語る（7分）（15）御前の家の大銀杏（10分）（16）猫の義大夫（7分）（17）内海長
S20004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	民話ゆうわ座7 民話のなかの子どもたち ～その「誕生」をめぐって～	191分	この映像は、2019年12月21日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアで実施した「民話ゆうわ座」の記録です。みわぎ民話の会が記録してきた日本の民話を題材に、採訪でのエピソードや民話語りの映像を提示しながら、現在に通じる思いや考えを自由に語り合います。今回は、民話に語られる子どもの「誕生」の姿に着目し、先祖は子どもという存在をどのように捉えてきたのか、参加者との対話を通して考えました。
S20005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	伊東豊雄 講演会「メディアテークは、なにを目指していたか」	120分	この映像は、2020年1月26日にオープンスクエアで行われた「伊東豊雄講演会『メディアテークは、なにを目指していたか』」の記録です。第1部の伊東豊雄氏（建築家）による講演、さらに第2部の鷲田清一館長との対談を通して、施設の利用者こそがその建築の意味をつくっていくことなどを話しました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	展覧会「KADAN Bridge／いろとりどりの掛け違い」イベント「留学生/外国人居住者を交えたトーク」	56分	この映像は、2020年2月15日にせんだいメディアテーク7階で実施した「留学生／外国人居住者を交えたトーク」の記録です。「地域探検隊-TTT-」が企画する展覧会「KADAN Bridge／いろとりどりの掛け違い」の関連イベントとして開催しました。仙台市花壇地区で暮らすグエン・テイエン・タムさんをゲストに迎えて、堀野正浩氏（公益財団法人仙台観光国際協会）と地域探検隊-TTT-のメンバーが聞き手隣、ベトナムでの暮らし、仙台・花壇地区での暮らしについてお話をうかがい、多文化共生について考えました
S20007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	073_経路研究所（1） 仙台市若林区井土（海岸公園冒険広場）	21分	当日の来園者は約20名。来園者の避難を終え、スタッフ2人で園内の確認をしていると、地元的一家3人が公園に避難してきました。一家と一緒に公園の中で一番高い場所（展望台）に向かう途中、2人は木々をなぎ倒していく津波の音を耳にします。食料や道具を積んでいたリヤカーを置いて、展望台へ急ぎました。雪に降られた3月11日の場景を振り返ります。 ※海岸公園冒険広場は復旧工事の後、2018年7月に再オープンしました。5人が避難した展望台は「避難の丘」に変わりました。
S20008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	074_経路研究所（2） 石巻市立雄勝小学校	27分	石巻市の雄勝小学校校長の土井正弘さん。校庭の前の道路に津波が現れたとき、避難計画で想定されていた避難場所よりももっと高い場所へ向かう必要があると考え、小学校に集まった人々と一緒に学校の裏山を越えて避難しました。雪の降る中山道を一時間かけて歩き、その日の晩は山の上にあるクリーンセンターで過ごしました。判断を促した背景には、忘れることのない地域の教訓と日々の心がけがありました。目の前で起きること、これから起きていくことを想像しながら過ごした数日を振り返ります。
S20009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	075_経路研究所（3） 仙台市立荒浜小学校	21分	海岸から約700mの場所に位置する荒浜小学校元校長の川村孝男さん。地震発生から70分ほどで津波が到達しました。目に映る光景があまりにも衝撃的で、非常サイレンの音もまったく耳に入らないほどでした。予想以上の津波の高さにより、3Fと4Fに避難待機していた児童と地域住民は、さらに屋上へ避難することに。周囲は一面海の状態でした。真っ暗の中過ごした3月11日の夜を振り返り、校舎への想いを語ります。
S20010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	076_経路研究所（4） 東松島市大曲浜保育所	23分	東松島市大曲浜保育所で2歳と3歳の子どものクラスを担当していた百々静香さん。地震が起きたとき、子どもたちはホールでお昼寝中でした。言われるままに残っている子どもたちを車に乗せて大曲小学校に向かいましたが、道路は避難する車で渋滞していてなかなか進みませんでした。途中で車を降り捨て、小学校を目指しました。急いで校舎の3階まで登って外を見ると、校庭に侵入してきた波が車を飲み込みながら、洗濯機のようにぐるぐると回っていました。そのとき目にした場景と心情、そして子どもたちを親に引き渡すまでを振り返ります。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	077_経路研究所（5） 宮城県七ヶ浜町菖蒲田浜	21分	仙台港の北部に位置する七ヶ浜町の海沿いに県道58号が走っています。星利成さんが経営するサーフショップマティーズはその県道に面しています。お店にいた星さんは揺れが収まってから車で自宅へ向かいました。その途中、一人暮らしの友達の母親、お客さんの家族のお宅、母親が暮らす実家などを回り、人びとの安否を確認していきました。自宅に到着して間もなくして、津波の知らせを聞き外を見ると、田んぼにじわじわと寄せてくる津波が見えました。地震が起きてから車で走ったルートをたどりながら、そのときの場景を振り返ります。
S20012	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	078_経路研究所（6） 福島県相馬郡新地町	34分	海の目の前に住んでいた武澤廣征さん。地震から数分後に、町の防災無線を通じて「大津波警報」が発令されたため、祖母と逃げる準備をしました。近くに山など高い場所もないので、あまり使うべきではないと思いながらも車で避難することに。一度は役場へ到着するものの、祖母がアイロンのスイッチを消し忘れたと不安がり、それを確かめに再び自宅へ戻ろうとしました。その途中、松林の高さを越えるほどの様々な色をした壁のようなものが見えました。見たことのない景色に何も考えられず、とにかく山側へと車を走らせました。そのときの場景、心情を振り返ります。
S20013	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	079_生きられる家 （1）岡田地区 吉田さん宅	15分	仙台市宮城野区岡田地区。海沿いのこの土地に代々住み続けてきた吉田祐也さんは、同じ敷地内に所有する3軒の家が津波によって大きな被害を受けました。3軒のうち東側にある、もっとも海に近い家には、震災前まで吉田さんの両親が暮らしていました。中央にある家は借家、西側にある家は吉田さん本人が暮らしていました。吉田さんはこの地に住み続けることを心に決めて、家を直しはじめることにしました。床板と壁板をはがして、一枚ずつはり直し、少しずつ修復しています。
S20014	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	081_生きられる家 （3）七ヶ浜 渡辺さん宅	15分	震災以前、菖蒲田浜の海岸線と平行に走る県道58号線沿いには、数多くの民家や店が並んでいました。その一画にあった渡辺茂さんの自宅と工場は、津波により大きな被害を受けました。その後、渡辺さんは基礎だけが残る敷地で野菜をつくりはじめ、畑のそばにはもとあった自宅の部材を再利用して小屋を建てました。
S20015	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	082_生きられる家 （4）蒲生地区 渡辺さん宅	42分	震災以前、七北田川の河口北側に広がる蒲生干潟には多様な動植物が生息し、その周りには多くの住宅や工場などが立ち並んでいました。蒲生にある渡辺市雄さんの自宅は、津波により大きな被害を受けました。震災後、毎日のように自宅跡へと足を運び、家を復元する渡辺さん。復元されていくその家には、カメの頭蓋骨やクジラの骨、小屋の上には七福神の二つの顔などもあしらわれ、渡辺さんの個性が溢れます。2011年から2015年まで、3回にわたり渡辺さん宅を訪れた際の記録映像です。
S20016	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	083_小国春熊猟2017	69分	小国には春熊猟があります。3.11後、放射能の有無を調べるだけでは何か大事なものを見落とすのでは？と感じた研究者が、東北山間部の山衆の技術・知識の伝承の記録を試みました。前作『小国春熊猟2016』の「歩く、捌く、背負ってきて食べる」に引き続き、「見たものを言葉と身振りで伝える」映像です。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20017	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	084_飯舘村に帰る	56分	東日本大震災による原発事故の影響で、思いもよらず避難しなければならなかった福島県飯舘村の人びと。避難指示が解除され、6年以上続いた仮設住宅での暮らしから村に帰る選択をした村民たちに、かつての村の様子や帰村後の暮らし、村への想いを聞いた。語りを聞き、身ぶりを捉えた映像の記録。
S20018	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	085_あなたと話したい	77分	アムステルダム在住のYako Kimuraは、2011年からの帰国の度に、知り合いや震災を機に出会った人びとのその後が気になり足を運び続けている。本作は、2018年の春、震災当時から交流のあった人を中心に、あのとときの想いや体験を通じて感じたこと、それぞれの立場から見える社会的な問題についてインタビューした記録映像。
S20019	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ	24分	この映像は、2019年11月3日から2020年1月12日にせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催された展覧会「青野文昭 ものの、ねむり、越路山、こえ」の展示風景と関連イベントを記録したものです。「なおす」ことを主題に、廃棄物や拾得物を用いて1996年から仙台で制作活動を続けている青野の初期作品から最新作までをギャラリーの空間全域に展示しました。
S20020	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	タイのアートスタジオの現在	94分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年8月17日（土）に開催したトークイベントの記録です。タイの版画シーン、アーティストの制作状況や表現に関すること、拠点となるスタジオの現状、そして今後の展望についてお話しを伺いました。企画運営は、「analog」が行いました。
S20021	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Modern Sculpture を超えて	96分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年8月24日（土）に開催したトークイベントの記録です。彫刻家である小田原のどか氏自身の制作に関することや、日本の公共空間における彫刻について、近年の状況を踏まえたお話しを伺いました。企画運営は、「Gallery TURNAROUND」が行いました。
S20022	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	生きづらさを離脱する～スペース、コミュニティ、アナーキー～	152分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年9月14日（土）に開催したトークイベントの記録です。現代社会の制度にとらわれない新たなコミュニティのありかたや、生き方について、自身の経験に引き寄せたお話を各登壇者から伺いました。企画運営は、「つくる場所をつくる！DIY PROJECT」が行いました。
S20023	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	なぞると、ずれる。草の根で紡ぐ『慰問文集』の再々発行プロジェクト	99分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年11月21日（木）に開催したトークイベントの記録です。松本篤氏が取り組んできた「市井の人びとの記録」のアーカイブづくりについて、進行中のプロジェクトとあわせてお話しを伺いました。企画運営は、「菅原匠子（曲線）」と「清水チナツ（PUMPQUAKE）」が行いました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20024	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「つくる」を教える、「つくる」と向き合う	68分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年12月1日（日）に開催したトークイベントの記録です。中学校での美術の授業を参考に、私たちがどのように「作ること」や「生み出すこと」に向き合えるのかについて、ワークショップなどを交えてお話を伺いました。企画運営は、「FabLab SENDAI - FLAT」が行いました。
S20025	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ふたりの写真家「記録と記憶・語り始める風景」	124分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年12月7日（土）に開催したトークイベントの記録です。気仙沼市の中山間地区「水梨」に暮らしながらその地を撮影し続ける佐々木徳朗氏と、水梨を離れてなお、水梨を撮り続ける佐々木隆二氏、兄弟で写真家である二人にお話を伺いました。企画運営は、「小岩勉／NEU FILM」が行いました。
S20026	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	神楽ってなんですか？～装束からはじめる郷土芸能～	160分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2020年1月25日（土）に開催したトークイベントの記録です。全国に伝わる「神楽（かぐら）」について、衣装や道具まで深い造詣と愛着をもつ神楽伝承者の方々に、舞台を見るだけではない神楽の楽しみ方について語っていただきました。企画運営は、「縦糸横糸合同会社」が行いました。
S20027	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Bio-Diversity	114分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2020年2月9日（日）に開催したトークイベントの記録です。仙台市環境局が進める「生物多様性保全推進事業～せんだい生きもの交響曲～」とのコラボ企画第二弾。美術家の佐々瞬氏と、人類学者の石倉敏明氏が、外来生物や各国の食文化の違いなどをもとに、人間と他の生き物との関係性について話し合いました。企画運営は、「Gallery TURNAROUND」が行いました。
S20028	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	川俣 正「仙台インプログレス」2019報告	96分	アートノード・ミーティングは、せんだいメディアテークが地域で展開するプロジェクト「アートノード」にまつわるあれこれを公開し、より多くの意見や視点を育て、その意義を皆さんとともに深めていくイベントです。この映像は、2019年7月28日（日）に開催された第7回の記録です。川俣正氏が「仙台インプログレス」で今年度制作した木道作品の話や今後のプロジェクトの展望について報告をしました。
S20029	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	藤 浩志「ワケあり雑がみ部」活動振り返り会	102分	アートノード・ミーティングは、せんだいメディアテークが地域で展開するプロジェクト「アートノード」にまつわるあれこれを公開し、より多くの意見や視点を育て、その意義を皆さんとともに深めていくイベントです。この映像は、2019年8月4日（日）に開催された第8回の記録です。第3期を迎えた「ワケあり雑がみ部」について、これまでの活動をアーティストであり部長を務める藤浩志氏や部員とともに振り返りました。

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20030	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	せんだいクロッシング～市民活動／アート／行政～	175分	アートノード・ミーティングは、せんだいメディアテークが地域で展開するプロジェクト「アートノード」にまつわるあれこれを公開し、より多くの意見や視点を得て、その意義を皆さんとともに深めていくイベントです。この映像は、2019年11月29日（金）に開催された第9回の記録です。3年目の活動に入った「東北リサーチとアートセンター（TRAC）」について、その成果や課題を会場のみなさんとともに検証しました。
S20031	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	生きられる家（2）岡田地区 二瓶さん宅	22分	海の近く、貞山堀と七北田川に囲まれた地で代々受け継がれてきた二瓶さん宅は、津波により大きな被害を受けました。天井近くまで波が押し寄せた家屋の1階部分。床板を一枚ずつ外し、並んでいる順番が分かるように裏に番号をふり、洗って干した後に元の位置に戻しました。建具は近所の家から譲ってもらい使っています。二瓶さんは、どんなことがあっても先祖代々受け継いできた土地を守り、住み続けることが重要だと話します。  生きられる家 津波の被害にあった家や土地。そこに住む人々の復旧・復興のプロセスの記録。
S20032	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	東日本大震災 山元町の記録 忘れまじこの悲しみを	46分	宮城県の沿岸部にある山元町は、東日本大震災により死者637名、住宅2,217棟が全壊という被害が発生し（2019年12月現在）、町内総面積の約37パーセントが津波で浸水しました。この記録は、当時山元町にお住まいだった佐藤修一さんが震災直後から山元町役場の災害対策本部・避難所の様子をビデオカメラで撮影したものです。災害発生時に、災害対策本部がどのように動いていたか。そして、避難された方々にどのように情報が伝達されていたのか。どんな小さなことでも伝えようと、あの日みんなが奮闘していた記録です。
S20033	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Making Ways of Making	100分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2018年11月24日（土）に開催したトークイベントの記録です。デジタルデータと物体を行き来しつつ、様々な作品制作を行う韓国のデザイナーHyun Parke（ヒュン・パク）氏を迎え、自身の作品解説に加えて、その興味深いデザイン・メイキングプロセスや思考を紐解きました。企画運営は、Fablab SENDAI FLATが行いました。 Hyun Parke (Minifature, Alternative Manufacturing Research／創設者、FabLab Seoul／共同創設者) 聞き手・通訳 大網拓真 (Fablab SENDAI-FLAT／エンジニア) 2018年11月24日（土） 会場：SENDAI KOFFEE CO. 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団） 企画運営：Fablab SENDAI-FLAT

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20034	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	郷土芸能とまちづくり ～三陸国際芸術祭から見える未来～	114分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年1月23日（木）に開催したトークイベントの記録です。郷土芸能を世界に発信しようとして2014年から始まった三陸国際芸術祭。これまでどのようなストーリーが生まれ、どのようにまちや地域の人々が変化してきたのかを、「郷土芸能」と「まちづくり」の視点で語りました。企画運営は、千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北）が行いました。 ゲスト 佐東 範一（三陸国際芸術祭プロデューサー／NPO法人JCDN 代表） 小岩 秀太郎（(公社)全日本郷土芸能協会 理事・事務局次長） 石井 大一郎（宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授） 2019年1月23日（木） 会場：みやぎNPOプラザ第2会議室 企画運営：千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北） 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団）
S20035	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	デザインを伝えるということ	90分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2019年2月6日（水）に開催したトークイベントの記録です。フリーランスのデザインライター／キュレーターとして活躍する角尾舞さんをお招きし、「デザインを伝えること」についてお話しいただきました。企画運営は、Fablab SENDAI FLATが行いました。 ゲスト 角尾 舞（フリーランスデザインライター／キュレーター） 2019年2月6日（水） 会場：Fablab SENDAI-FLAT 企画運営：Fablab SENDAI-FLAT 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団）
S20036	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	あそぶ、子ども、あーと ～創造力を引き出す教育～	66分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2017年9月9日（土）に開催したトークイベントの記録です。八戸市の現代芸術教室「アートイズ」の佐貫巧氏・沼尾大伸氏、仙台市で創造性を引き出す遊びの場づくりを実践する「認定向山こども園」の木村創氏をゲストに、アート/遊び/教育について考えました。企画運営は、千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北）が行いました。 話し手 佐貫 巧（アーティスト／現代美術教室アートイズ） 沼尾 大伸（認定こども園三沢第一幼稚園 副園長／現代美術教室アートイズ） 木村 創（認定向山こども園 副園長） 2017年9月9日（土） 会場：認定向山こども園 企画運営：千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北） 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団） 協力：認定向山こども園

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20037	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	作品がうまれるとき	150分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2017年10月28日（土）に開催したトークイベントの記録です。岩手・宮城・東京・静岡の各地で活動する身体芸術の作家たちが、作品づくりのきっかけや動機について対話しました。企画運営は、千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北）が行いました。 話し手 山縣 太一（俳優・演出家・劇作家・パフォーマー） 上村 恵（ダンサー・振付家） 中村 大地（作家・演出家） 磯島 未来（ダンサー・振付家） 聞き手 関本 欣哉（ギャラリー「ターンアラウンド」オーナー） 2017年10月28日（土） 会場：boxes Inc. 企画運営：千田勇太（一般社団法人アーツグラウンド東北） 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団） 協力：boxes Inc.
S20038	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	金川晋吾×西澤論志 ふたつの「father」	156分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2017年8月26日（土）に開催したトークイベントの記録です。失踪癖のある父を撮影した写真家と、その撮影過程を映像記録した映像作家の写真展示および上映に合わせたトークを開催しました。企画運営は、仙台アーティストランプレイス(SARP)が行いました。 話し手 金川 晋吾(写真家) 西澤 論志(写真家/映像作家) 聞き手 小岩 勉(写真家) 2017年8月26日(土) 会場:仙台アーティストランプレイス(SARP) 企画運営:仙台アーティストランプレイス(SARP) 主催:せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)
S20039	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	台湾インディペンデントシーン、進化するリトルプレス	133分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2017年8月27日（日）に開催したトークイベントの記録です。台湾のカルチャーシーンの中で、異彩を放つインディーズパブリッシャー”nos:books”の活動をはじめ、台北のクリエイターたちを取り巻く創作環境、台湾の書店事情、日本との関わりなどを語るトークを行いました。企画運営は、book café 火星の庭が行いました。 出演 永岡 裕介（イラストレーター） 陳 瑩羽（三餘書店） 中山 亜弓（書店タコシエ） 聞き手 大林 えり子（ブックギャラリーポポタム 店主） 2017年8月27日（日） 会場：book café 火星の庭 企画運営：book café 火星の庭 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団）



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20040	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	バイオをハックする？	56分	この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として2017年11月26日（日）に開催したトークイベントの記録です。「バイオ」をベースとしたハック・アートプロジェクトに取り組む西原由実さんをお招きし、ご自身の取り組みや世界の様々な「バイオ」プロジェクトの事例をお伺いしました。企画運営は、Fablab SENDAI FLATが行いました。 話し手 西原 由実（リサーチャー） 聞き手 大網 拓真（Fablab SENDAI-FLAT エンジニア） 2017年11月26日（日） 会場：ART SPACE YOUTO（1to2 BLDG. 内） 企画運営：Fablab SENDAI-FLAT 主催：せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市市民文化事業団） 協力：1to2 BLDG.
S20041	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	飯館村に帰る	55分	東日本大震災による原発事故の影響で、思いもよらず避難しなければならなかった福島県飯館村の人びと、避難指示が解除され、6年以上続いた仮設住宅での暮らしから村に帰る選択をした村民たちに、かつての村の様子や帰村後の村の暮らし、村への想いを聞いた。語りを聞き、身振りを捉えた映像の記録。 制作：島津信子、福原悠介 聞き手 島津信子 撮影・編集 福原悠介 撮影年月日、撮影地：2017年12月4日、2018年11月6日、11月20日、12月20日（福島県相馬郡飯館村・伊達郡国見町）
S20042	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	震災記録を見る、読む、囲む —「飯館村に帰る」バリアフリー上映の記録—	30分	避難指示が解除され、村に帰る選択をした福島県飯館村の人びとに、暮らしや村への想いを聞いた「飯館村に帰る」。この映像は、2020年11月29日に行われたバリアフリー上映「飯館村に帰る」に向けたボランティアの活動記録です。上映にあたり、音声解説と日本語字幕を制作するボランティアの間では、様々な試行錯誤が繰り広げられました。震災記録に映る土地ならではの風景や言葉（方言）をどのように伝えるのか、映像を見て、読んで、そして、ともに囲んで語る。障害のこと、方言のこと、そして震災とその記録への向き合い方について、改めて考え関わり合った軌跡の記録です。 制作：3がつ11にちを忘れないためにセンター 構成・編集：福原悠介 撮影：相原洋 撮影年月日、撮影地など：2020年2月 - 12月（宮城県仙台市青葉区せんだいメディアテーク） 制作年：2021年

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20043	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 日和山と中野小太鼓編	67分	<p>旧中野小学校の東に位置する蒲生干潟には日本一低い山「日和山」があります。毎年7月の山開きでは児童による太鼓演奏があり、地域文化を受け継ぐ機会にもなっています。そんな山開きに携わってきた男性たちに、地域への想いを聞きました。旧中野小学校と和太鼓演奏のいきさつや和太鼓購入の苦労話など、今思えば、楽しいお話です。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt; 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：片桐豪、瀬戸信男、末永幸紀、佐藤政信、芳賀幸子(聞き手) 撮影年月日、撮影地：2018年8月18日(宮城県仙台市宮城野区福室南福室集会所)</p>
S20044	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 婦人防火クラブ編	57分	<p>東日本大震災の時、中野小学校へ避難したふたりは、蒲生町内会の婦人防火クラブ員でした。旧中野小学校区では、蒲生・港・西原・和田の4町内会に婦人防火クラブがあり、防災訓練など盛んに活動していました。約600名の方々が避難した小学校での非常食の準備などの際、日頃の訓練が生かされました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt; 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：千田政子、鈴木千香子、芳賀幸子(聞き手) 撮影年月日、撮影地：2018年10月20日(宮城県仙台市宮城野区田子西田子西中央集会所)</p>
S20045	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 中野小学校への避難編	63分	<p>東日本大震災の時、中野小学校には約600名の町民や近隣の会社の方々など、たくさんの避難者がいました。校舎の1階が津波により被災している状況下、先生・児童・避難者の安全を確保するために、部屋の割り振りや瓦礫の撤去など、先頭に立って活躍した蒲生町内会・西原町内会の3名に、当時のお話を伺いました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt; 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：大和田哲男、下山正夫、鈴木均、芳賀幸子(聞き手) 撮影年月日、撮影地：2018年12月22日(宮城県仙台市宮城野区田子西田子西田子3丁目集会所)</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20046	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 西原新聞編	45分	<p>旧中野小学校区にある西原町内会の女性たちは、震災後ばらばらになった住民の方々に向けて「西原（にしっぱら）新聞」を創刊しました。2011年11月6日から2017年5月20日まで、計50号を発行。より生活に密着したローカルな情報を届けるために尽力した女性たちに、新聞発行の経緯や編集の思い出などを振り返ってもらいました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt; 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：下山栄子、大和田美知子、川上加寿子、竹内利子、伊藤光子、芳賀幸子（聞き手） 撮影年月日、撮影地：2019年8月24日（宮城県仙台市宮城野区岡田上岡田集会所）</p>
S20047	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト なかのコミサイ編	56分	<p>東日本大震災で甚大な津波被害を受けた旧中野小学校区では、震災直後に復興対策委員会が発足し、災害復興に向けて定期的に開かれました。その議事録を通して大震災のことを地域内外の方に知ってほしいとの理由から、「中野小学校区復興対策委員会のコミュニティサイト（通称：なかのコミサイ）」を開設。全前101回分の議事録や「西原新聞」「復興川柳」「語り部の会」など多くのコンテンツを公開してきました。なかのコミサイの開設メンバーが、立ち上げの経緯や運営の思い出などを語りました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt; 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影：川下政一 編集：増田芳雄・村上幸一 出演：増田芳雄、村上幸一、芳賀幸子（聞き手） 撮影年月日、撮影地：2019年10月12日（宮城県仙台市宮城野区岡田上岡田集会所）</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20048	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 復興対策委員会編	61分	<p>東日本大震災で甚大な津波被害を受けた旧中野小学校地区では、震災発生から9日後、地区内の4町内会（港・蒲生・西原・和田）の役員等が会合を開き、それぞれの避難先で生活をしている住民同士の情報共有やコミュニティの維持を目的とした「中野小学校区災害対策委員会」と改称し、2017年3月31日までの間、地域の復興のために活動を続けました。そのメンバーに当時は振り返ってもらいました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt;</p> <p>東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：大和田哲男、高橋寛、下山正夫、佐藤修一、佐藤政信、片桐勝二、鈴木均、末永幸紀、川下政一、増田芳雄、村上幸一、芳賀幸子（聞き手） 撮影年月日、撮影地：2019年12月14日（宮城県仙台市宮城野区岡田上岡田集会所）</p>
S20049	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	中野伝承プロジェクト 3.11大津波編	59分	<p>東日本大震災による大津波の体験談。高橋誉志男さんは、家族3人が逃げ遅れて津波に飲み込まれたものの、間一髪助かりました。岩手県の内陸部出身で津波への警戒感が薄かったことを反省していると語ります。もうひとり、当時宮城野区消防団港分団に所属していた村尾裕之さん。自宅で揺れを感じてすぐに詰所に向かい、消防ポンプ車に乗って住民へ避難を呼び掛けました。大津波は想定より早く、しかも3方向から押し寄せてきたため、消防ポンプ車を捨ててかろうじて民家に逃げ込み助かりました。</p> <p>&lt;中野伝承プロジェクト&gt;</p> <p>東日本大震災により甚大な被害を受けた旧中野小学校区の復興を考える地域団体「中野小学校区復興対策委員会」の解散後、同じメンバーでつくられた「なかの伝承の丘保存会」。その活動のひとつである「中の伝承プロジェクト」では、震災と旧中野小学校区のことを残し、伝えるための映像を制作しています。ばらばらになった住民との橋渡しを行いながら、「ふるさと」を記録します。</p> <p>制作：なかの伝承の丘保存会 撮影・編集：増田芳雄・村上幸一 出演：高橋誉志男、村尾裕之、芳賀幸子 撮影年月日、撮影地：2020年9月26日・10月30日（宮城県仙台市宮城野区岡田上岡田集会所）</p>
S20050	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	「二重のまち」を読む、踊る (2017年1月の陸前高田にて)	24分	<p>復興事業が進行する岩手県陸前高田市にて、まちを見渡せる屋上から、2031年の未来を舞台に描かれた物語「二重のまち」（作・瀬尾夏美）を、陸前高田に暮らす阿部裕美さんが朗読する。その声やまちの音、風景に呼応するように砂連尾理さん（振付師・ダンサー）が踊る。砂連尾理さんの「猿とモルターレ」大阪・茨木公園の前に行われた小さなパフォーマンスの記録。</p> <p>制作：小森はるか 朗読：阿部裕美 踊り：砂連尾理 撮影：小森はるか、酒井耕 編集：小森はるか 撮影年月日、撮影地：2017年1月6日（岩手県陸前高田市）</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S20051	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	かげを拾う	68分	<p>仙台在住の美術作家・青野文昭さんの制作風景を追ったドキュメンタリー。せんだいメディアテークでの個展に向けて青野さんが取り組んでいた。仙台市八木山と岩手県宮古市を舞台とした新作制作の中で、「拾う」「なおす」行為にカメラを向けた。「青野文昭ものの、ねむり、越路山、こえ」の関連企画として上映したものの再編集版。</p> <p>制作・撮影・編集：小森はるか 録音：福原悠介 撮影年月日、撮影地：2018年12月から2020年10月（宮城県仙台市、岩手県宮古市） 制作：せんだいメディアテーク</p>
S20052	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	とおくはちかい (reprise)	83分	<p>大きな地震があった町で暮らす知人を訪ねる男。2人は、何を話すわけでもなく、訥々と、寄り道をしながら言葉を重ねる。忘れていいこと、忘れてはいけないこと、忘れなくてはいけないこと、忘れたくても思い出せないこと。時が記憶を言葉にして、「言い切れなさ」も形を変える。2017年初演の記憶と忘却をめぐる会話劇「とおくはちかい」を全編改稿し、異なるキャストで上演した際の映像記録。</p> <p>制作：屋根裏ハイツ 出演：三浦碧至、渡邊悠生（仙台シアターラボ） 作・演出・音響：中村大地 撮影：岩崎孝生、小森はるか、壺内里奈 編集：小森はるか 撮影年月日、撮影地：2020年7月27日（東京都目黒区こまばアゴラ劇場）</p>
S20053	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	ここは出口ではない	102分	<p>1組のカップルが暮らす部屋のリビングに、共通の知人がふいに現れる。彼女が死んでいることを2人はもう知っていて、けれどもそれを迎え入れる。つかの間の再開と乾杯。なぜか、家に帰れなくなったという見ず知らずの他人も後から合流して過ごしていると、生きるものと死んだ者の境目が溶け合っ、いつの間にか夜が明ける。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出演者の1名がフルリモートの出演となった。</p> <p>制作：屋根裏ハイツ 出演：佐藤駿、瀧腰教寛、宮川紗絵、村岡佳奈（屋根裏ハイツ） 作・演出・音響：中村大地 撮影：岩崎孝生、小森はるか、壺内里奈 編集：宮崎玲奈 撮影年月日、撮影地：2020年7月27日（東京都目黒区こまばアゴラ劇場）</p>
S21001	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	『光と時のドキュメント』写真・映像・日常・記録	104分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベント「TALK 『光と時のドキュメント』写真・映像・日常・記録」の記録です。写真家の一ノ瀬ちひろ氏と映像作家の小森はるか氏が、それぞれ体験してきた日常の変化となる出来事について言及しながら、写真と映像という異なるメディアによって、記録することや作品をつくることについて意見を交わしました。</p> <p>出演者 一ノ瀬ちひろ(写真家) 小森はるか(映像作家) 菅原匠子(曲線)</p> <p>2020年10月18日(日) 会場:曲線 企画運営:曲線</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S21002	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	宮城県文化関係者アンケートの結果から見えるもの	101分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベント「TALK 宮城県文化関係者アンケートの結果から見えるもの」の記録です。文化活動に携わる有志メンバーによって実施された「宮城県文化芸術関係者アンケート」をもとに、前半は調査の経緯について共有し、後半は福井県や福岡県での調査事例も交えながら、集計結果から見えたコロナ状況下における文化活動の今後の課題について話し合いました。</p> <p>出演者 大澤 寅雄((株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員/NPO法人アートNPOリンク理事長) 朝倉 由希(文化庁地域文化創生本部研究官/NPO法人福井芸術・文化フォーラム常務理事) 千葉 里佳(からだメディア研究室/ダンサー・振付家) 宮本 一輝(仙台シアターラボ/俳優) 千田 優太(一般社団法人アーツグラウンド東北/代表理事)</p> <p>2020年8月23日(日) 会場: boxes Inc.</p>
S21003	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	Independent Bookstore Print Editions 作家が作品を売ることに ついて、またその試み。	116分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベント『Independent Bookstore Print Editions 本屋で作品を売ることに ついて』の記録です。写真家の志賀理江子氏が仙台の書店と立ち上げたプロジェクト、「Independent Bookstore Print Editions」のこれまでの活動を振り返りながら、書店と共同し作品を販売することの意義やプロジェクトの今後の展望について語り合いました。</p> <p>出演者 志賀 理江子(写真家) 菊竹 寛(Yutaka Kikutake Gallery) 高熊 洋平(書本 &amp; cafe magellan) 菅原 匠子(曲線) 前野 久美子(book cafe 火星の庭)</p> <p>2020年9月15日(火) 会場: book cafe 火星の庭</p>
S21004	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	南極を知る 一人が住める環境とは一	71分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベント「南極を知る 一人が住める環境とは一」の記録です。元南極観測隊員の石井洋子氏と小学生たちが、南極の環境や観測隊の暮らしと活動について対話しながら、私たちが生活している環境との違いについて考えました。</p> <p>出演: 石井洋子(元日本南極地域観測隊員、宮城県地球温暖化防止活動推進員) 実施日: 2020年12月15日(火) 会場: SARP 仙台アーティストランプレイス スペースA 企画運営: 佐立 るり子(アトリエサタチ)</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S21005	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	完成させる必要のないものづくり	52分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベント「完成させる必要のないものづくり」の記録です。</p> <p>フリーランスエンジニアの廣瀬悠一氏が、制作拠点としている市民共同の工房や自ら考案した3次元データから中身の詰まった立体物を編む手法「ソリッド編み」について話しました。</p> <p>出演者：廣瀬 悠一（フリーランスエンジニア）</p> <p>実施日：2020年12月19日（土） 会場：FabLab SENDAI - FLAT 企画運営：FabLab SENDAI - FLAT</p>
S21006	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	人権と芸術・問いかける私～作品から生まれる波の事	115分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、制作を通して交流をもったアーティストたちが集い、「社会生活」と「芸術」を主題として、それぞれがこれまで過ごしてきた日々の体験や問題意識がどのような過程を経て「作品」となり、受け手へと繋がっていくのか意見を交わしました。</p> <p>出演： アキラ・ザ・ハスラー（アーティスト） 碓井 ゆい（アーティスト） 佐々 瞬（アーティスト） 工藤 夏海（アーティスト、人形劇団ポンコレラ、喫茶ホルン）</p> <p>2020年11月14日（土） 会場：喫茶ホルン</p>
S21007	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	オンラインミーティング チャンネル-A 秋田 - 岩手 - 仙台地域における表現の場の実践	127分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、東北の民間ギャラリー代表者とスタッフ、アーティストが、それぞれの活動について、2つのチャンネルに分かれて意見交換をしました。チャンネル-Aでは、各ギャラリーの代表者が集い、施設運営に携わったきっかけや表現の場を継続していくことの課題と今後の展望について話し合いました。</p> <p>出演： チャンネル-A 後藤 仁（ココラボラトリー 二代目代表） 清水 真介（Cyg art gallery ディレクター） 関本 欣哉（Gallery TURNAROUND 代表）</p> <p>2020年12月17日 会場：Cyg art gallery、ココラボラトリー、Gallery TURNAROUND</p>

教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S21008	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	オンラインミーティング チャンネル-B 秋田 - 岩手 - 仙台地域における表現の場の実践	96分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、東北の民間ギャラリー代表者とスタッフ、アーティストが、それぞれの活動について、2つのチャンネルに分かれて意見交換をしました。チャンネル-Bでは、各ギャラリーのスタッフとアーティストが、より現場に近い視点で、コロナ禍での取り組みや美術業界で働くことについて共有しました。</p> <p>出演： チャンネル-B 菅原 綾希子（造形作家／ココラボ同ビル入居） 千葉 真利（Cyg art gallery キュレーター） 安部 朝美（Gallery TURNAROUND 副代表）</p> <p>2020年12月23日（水） 会場：Cyg art gallery、and toiro、Gallery</p>
S21009	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コロナ禍における舞台芸術はどうだったのか／どうなるのか 第一部	112分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、舞台芸術関係者がコロナウイルスの影響によって変化した演劇界の現状と課題について話し合いました。第一部は、仙台を拠点として活動している舞台俳優をゲストに招き、それぞれの演劇活動の遍歴を伺いながら、仙台の演劇界の1年間を振り返りました。</p> <p>出演： 渡部 ギュウ（俳優、YONEZAWA GYU OFFICE 代表） 本田 椋（俳優、短距離男道ミサイル代表） 大河原 準介（演劇企画集団LondonPANDA 主宰）</p> <p>2020年12月22日（火）</p>
S21010	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	コロナ禍における舞台芸術はどうだったのか／どうなるのか 第二部	120分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、舞台芸術関係者がコロナウイルスの影響によって変化した演劇界の現状と課題について話し合いました。第二部は、全国各地で活躍する舞台芸術関係者をオンラインで繋ぎ、コロナ禍での取り組みを共有するとともに、今後の劇場と演劇の未来について考えました。</p> <p>出演： 松本 大介（舞台照明家、松本デザイン室 代表） 水戸 雅彦（まつもと市民芸術館 芸術監督補佐） 長島 確（フェスティバル/トーキョー ディレクター） 大河原 準介（演劇企画集団LondonPANDA 主宰）</p> <p>2020年12月22日（火） 会場：せんだいメディアテーク 7f スタジオb</p>



教材コード	分類	タイトル	時間	内容
S21011	その他（文芸・平和教育・産業・施設）	今、仕事場から考える サステナブル？ダイバーシティ？パブリック？	71分	<p>この映像は、「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の一環として開催したトークイベントの記録です。今年度のTALKは、コロナ禍のなかで、仙台市の文化関係者のネットワークやアイデアを拡充し、状況に即して何ができるのかを考えていくために実施しました。</p> <p>このTALKでは、コロナ禍によって変化した働き方やソーシャルディスタンスをテーマに、仕事場を外に向けて開いてきたゲストを招き、それぞれの取り組みを通して、今後の仕事場の在り方や地域における存在意義、人とのコミュニケーションについて語り合いました。</p> <p>出演：  宇都宮 俊（一級建築士）  林 宏樹（sendai music place ROOTS 代表、サックス奏者）  関本 欣哉（Gallery TURNAROUND 代表、美術家）</p> <p>聞き手：  白鳥 大樹、中里 広太（Hangout Lab Sendai）</p> <p>2021年1月12日（火）</p>